

第2期鳥取市創生総合戦略の令和5年度実績について

1. 基本目標の達成状況

柱	基本目標	内部評価							外部評価					
		①順調/達成	②概ね順調	③やや遅延	④遅延	⑥未達成	①または②の割合	⑤評価対象外※4	①	②	③	④	①または②の割合	⑤評価対象外※4
		100%以上	80%~99%	60%~79%	0%~59%	※1	※2		計画どおり	ほぼ計画どおり	目標をやや下回る	目標を大きく下回る	※3	
次世代の鳥取市を担うひとづくり	結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり	0	1	0	0	0	100.0%	2	0	1	0	0	100.0%	2
	ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり	2	1	0	0	0	100.0%	0	2	1	0	0	100.0%	0
誰もが活躍できるしごとづくり	稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり	2	2	2	0	0	66.7%	1	1	2	3	0	50.0%	1
にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり	1	2	0	0	1	75.0%	1	1	2	0	1	75.0%	1
	快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり	1	0	0	0	1	50.0%	3	1	0	0	1	50.0%	3
	健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり	2	0	0	0	0	100.0%	0	2	0	0	0	100.0%	0
	誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり	0	1	0	0	0	100.0%	4	0	1	0	0	100.0%	4
合計		8	7	2	0	2	78.9%	11	7	7	3	2	73.7%	11

2. KPI（重要業績評価指標）の達成状況

柱	基本目標	内部評価							外部評価					
		①順調/達成	②概ね順調	③やや遅延	④遅延	⑥未達成	①または②の割合	⑤評価対象外※4	①	②	③	④	①または②の割合	⑤評価対象外※4
		100%以上	80%~99%	60%~79%	0%~59%	※1	※2		計画どおり	ほぼ計画どおり	目標をやや下回る	目標を大きく下回る	※3	
次世代の鳥取市を担うひとづくり	結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり	4	2	1	0	1	75.0%	0	4	2	2	0	75.0%	0
	ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり	2	4	1	0	0	85.7%	0	2	4	1	0	85.7%	0
誰もが活躍できるしごとづくり	稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり	8	4	6	7	0	48.0%	0	8	4	6	7	48.0%	0
にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり	5	5	2	0	0	83.3%	0	4	6	2	0	83.3%	0
	快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり	5	7	0	1	0	92.3%	0	5	5	2	1	76.9%	0
	健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり	2	3	3	1	0	55.6%	0	2	3	3	1	55.6%	0
	誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり	5	6	2	0	0	84.6%	0	5	6	2	0	84.6%	0
合計		31	31	15	9	1	71.3%	0	30	30	18	9	69.0%	0

※1 指標の特性上「できた」「できなかった」で評価したもののうち、「できなかった」に属するもの
 ※2 ①「順調/達成」または②「概ね順調」の割合 (①②÷①②③④⑥)
 ※3 ①「計画どおり」または②「ほぼ計画どおり」の割合 (①②÷①②③④)
 ※4 今回評価の対象ではないもの(令和6年度実施予定の市民アンケート調査を指標としているものなど)

第2期創生総合戦略の施策評価について

●内部評価について

- 各施策の令和5年度の実績を踏まえ、達成率や取組の状況、評価区分（①順調 ②概ね順調 ③やや遅延 ④遅延 ⑤評価対象外 ⑥未達成）、担当課意見を内部評価としてまとめています。
- 達成率は令和5年度実績／年次目標値により算出しています。
- 達成率で評価できないものは、指標に対する令和5年度実績（取組状況）を踏まえ評価しています。

<評価の目安>

（パターンA）年次目標値に対する達成度で評価するもの

評価区分	達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
① 順 調	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和5年度の実績や成果を踏まえて記載しています。
② 概 ね 順 調	80%～99%	
③ や や 遅 延	60%～79%	
④ 遅 延	0%～59%	
⑤ 評 価 対 象 外	—	当該年度の年次目標値が設定できないものは「評価対象外」とし、令和5年度の実績状況を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等について記載しています。

（パターンB）指標の性質上、「できた」「できなかった」で評価するもの

評価区分	達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
① 達 成	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和5年度の実績や成果を踏まえて記載しています。
⑥ 未 達 成	0%～99%	

●総合企画委員評価（外部評価）について

評価区分	評価の内容
①	計画以上に進捗しており、十分評価できる。今後も継続して施策の推進に努めてほしい。
②	ほぼ計画通りに進捗しており、一定の評価はできる。今後も計画以上の進捗に向け施策の推進に努めてほしい。
③	目標をやや下回る要因の分析を要する。今後の進め方を再度検討する必要がある。
④	目標を大きく下回っており、その要因の分析と施策の見直しが必要である。

第2期鳥取市創生総合戦略 施策体系

I	S A N I T Y	【基本目標Ⅰ－1】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり
		○ 結婚・出産・子育て支援
		【基本目標Ⅰ－2】ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり
		○ 教育の充実・郷土愛の醸成 ○ 生涯学習の推進
II	S U S T A I N A B L E	【基本目標Ⅱ－1】稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり
		○ 持続可能な経済成長の実現 ○ 工業の振興 ○ 商業とサービス業等の振興 ○ 農林水産業の成長産業化
III	ま ち づ く り	【基本目標Ⅲ－1】都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり
		○ ふるさと・いなか回帰の促進 ○ 滞在型観光の推進 ○ シティセールスの推進 ○ 文化芸術によるまちづくりの推進 ○ 自治体間連携の推進
		【基本目標Ⅲ－2】快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり
		○ 生活基盤の充実 ○ 中心市街地の活性化 ○ 魅力ある中山間地域の振興 ○ 交通ネットワークの充実 ○ 地域情報化の推進
		【基本目標Ⅲ－3】健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり
		○ スポーツ・レクリエーションの振興 ○ 健康づくり・疾病予防・介護予防の推進
		【基本目標Ⅲ－4】誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり
		○ 協働のまちづくりの推進 ○ 地域福祉のまちづくりの推進 ○ 超高齢社会に向けたまちづくりの推進 ○ 多文化共生のまちづくりの推進 ○ 地域防災力の向上

3. 評価指標ごとの達成状況

【柱Ⅰ】次世代の鳥取市を担うひとづくり

【基本目標Ⅰ－1】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	1	鳥取市の合計特殊出生率	一人の女性が一生に産む子どもの平均数として算出された当該年の人口統計上の数値。	目標値(単年)	-	-	-	-	1.57	1.60	1.62	1.65	1.67	② 概ね 順調	合計特殊出生率は平成30年以降、概ね1.5前後で推移していたが、令和5年は市試算値で1.40に低下した。 合計特殊出生率低下の社会経済要因として、未婚率や初婚年齢の上昇、夫婦の子ども数の減少、若年層の転出超過が考えられ、「結婚への意欲・機会の減少」「経済的・生活基盤の弱さ」「仕事と家庭の両立の困難さ」「育児負担の重さ」「魅力的な就業機会の不足」などの影響を受けていると考える。 少子化の要因をしっかりと踏まえて、若者の意見を取り入れた実効性のある各種対策を立案・実施し、長期的な視点で少子化対策に取り組む。 ※令和5年の県内市町村別の合計特殊出生率の県公表は、今年度後半になる見込みのため、評価は市試算値で実施する。	地方創生推進室	② ほほ計画 どおり
				実績値(単年)	-	1.50	1.48	1.54	1.49	1.55	1.40						
				達成率	%	-	-	-	94.9%	96.9%	86.4%						
数値目標	2	「子育てを楽しみ」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	70.0	-	⑤ 評価 対象 外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 今後も多様化する保育ニーズに対応できるよう、子育て支援事業を継続して実施していく。	こども未来課	評価 対象外
				実績値(単年)	%	-	66.0	-	-	-	-						
				達成率	%	-	-	-	-	-	-						
数値目標	3	「子育てしやすい環境」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査で「子育てしやすい(子育てしやすかった)」と回答をした市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	⑤ 評価 対象 外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 今後も多様化する保育ニーズに対応できるよう、子育て支援事業を継続して実施していく。	こども未来課	評価 対象外
				実績値(単年)	%	-	61.5	-	-	-	-						
				達成率	%	-	-	-	-	-	-						

【重点施策】結婚・出産・子育て支援

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	R3~7年度の麒麟のまち婚活サポートセンター登録者の成婚数の累計。	目標値(単年)	組	-	-	-	6	6	6	6	6	③ やや遅延	令和5年度は、会員同士の成婚報告数が過去平均に比べ大幅に減少した。カップル成立後、交際まで進展するカップルが少ないため、引き続き婚活アドバイザーとして活躍する方に本事業のアドバイザーに就任いただき事業のブラッシュアップを図るとともに、サークル活動による会員同士の交流促進を図るなど、解消しにくいカップルの成立を目指すことで成婚につなげ、結婚を望む人の希望をかなえられるよう取り組む。	政策企画課	③ 目標をやや下回る
				実績値(累計)	組	-	-	-	6	12	18	24	30				
				実績値(単年)	組	-	6	8	7	6	1						
				実績値(累計)	組	-	-	-	7	13	14						
				達成率	%	-	-	-	116.7%	108.3%	77.8%						
KPI	5	妊婦相談率	当該年度に妊婦が妊娠中に保健師等に相談した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	100	100	100	100	100	① 順調	妊娠期から安心して子育てを迎えられるよう情報提供を行い、妊婦同士の交流を通して悩みや不安の軽減を図った。妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行い、孤立を防ぎ安心して子育てできるように今後も継続して支援していく。	こども家庭センター	① 計画どおり
				実績値(単年)	%	-	99.7	100	99.8	100	100						
				達成率	%	-	-	-	99.8%	100.0%	100%						
KPI	6	新生児訪問の訪問率	当該年に保健師等が生後4か月未満の新生児を訪問した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	100	100	100	100	100	② 概ね順調	子育てに関する不安などの相談等に応じ、母子が孤立せず安心して子育てができるよう今後も継続して支援していく。訪問できない場合は、電話での聞き取りや関係機関と連携し状況把握に努めていく。	こども家庭センター	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	%	-	98.9	98.0	97.1	97.6	98.0						
				達成率	%	-	-	-	97.1%	97.6%	98.0%						
KPI	7	保育園の待機児童数(4月1日現在)	当該年度の4月1日現在における保育園の入園申込みをしたにも関わらず入園できない状態にある児童の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	0	0	0	0	0	① 達成	4月1日現在における待機児童数はゼロを継続している。今後も施設整備等の支援や、保育ニーズに沿った受入調整を行い、待機児童ゼロを継続していく。	幼児保育課	① 計画どおり
				実績値(単年)	人	0	0	0	0	0	0						
				達成率	-	-	-	-	達成	達成	達成						
KPI	8	保育園の待機児童数(10月1日現在)	当該年度の10月1日現在における保育園の入園申込みをしたにも関わらず入園できない状態にある児童の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	0	0	0	0	0	⑥ 未達成	10月1日現在における待機児童数は、前年度より大幅に減少したものの、目標値を達成できなかった。年度中途の保育希望は低年齢化が進んでおり、配置基準を満たす保育士の確保が課題となっている。今後も保育ニーズに沿った受け皿を確保する取組を進めていく。	幼児保育課	③ 目標をやや下回る
				実績値(単年)	人	33	20	20	26	7	5						
				達成率	-	-	-	-	未達成	未達成	未達成						
KPI	9	ファミリー・サポート・センターの提供会員及び両方会員数	会員は、①育児の援助を受けたい人(依頼会員)と②育児の援助を行いたい人(提供会員)及び③そのどちらも会員登録をした人(両方会員)があり、当該年度末の②及び③の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	97	111	115	116	116以上	② 概ね順調	令和5年度は提供会員が3人減、両方会員が1人減であった。相互援助により育児の負担軽減や仕事との両立が図られるためには、提供会員、両方会員の更なる確保が必要であるため、引き続き取組を進めていく。	幼児保育課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	人	91	96	105	110	114	110						
				達成率	%	-	-	-	113.4%	102.7%	95.7%						



指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合評価委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	10	療育事業に継続参加した幼児・保護者の満足度	発達相談から療育事業につながった幼児の継続した療育事業終了時のアンケートで、「満足」「ほぼ満足」と回答した保護者の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	80	85	90	95	100	① 順調	専門的スタッフによる親子通所療育、小集団療育を実施し、療育事業終了時のアンケートで、「満足」「ほぼ満足」と回答した保護者の割合は100%だった。発達支援を必要とする幼児、子育ての困難を抱える保護者からのニーズは高いものとする。 今後も子ども達の発達や課題に合わせた療育を設定し、工夫しながらより一層療育の充実を図っていく。	子ども発達支援センター	① 計画どおり
				実績値(単年)	%	-	-	100	100	100	100						
				達成率	%	-	-	-	125.0%	117.6%	111.1%						
KPI	11	鳥取市男女共同参画かがやき企業認定数	男女がともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいると市が認定している当該年度末の企業数。	目標値(単年)	件	-	-	-	39	47	50	53	55	① 順調	要綱改正(鳥取県男女共同参画推進企業に認定されている企業は、申請書類の提出を一部省略できる。)し、申請手続を簡素化した。また認定のない企業を訪問し、新規に10社の認定に至った。 社会が抱える男女間の不平等改善のため、女性活躍推進法が改正され、企業の努力が求められている。 引き続き、働く場における女性の活躍推進のため、男性の家事・育児の参加促進、男女とも仕事と家庭の両立を図れるよう企業への啓発に取り組む。	男女共同参画課	① 計画どおり
				実績値(単年)	件	-	-	36	44	45	55						
				達成率	%	-	-	-	112.8%	95.7%	110.0%						

6

【基本目標 I - 2】ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	12	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることのある児童生徒の割合(小学校)	当該年度実施の「全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査」で、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることのある児童生徒の割合」と回答した割合。 ※義務教育学校は、前期課程と後期課程に分けて集計。	目標値(単年)	%	-	-	-	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	① 順調	令和5年度「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか」という質問に変更になったため、実績値が高くなっている。令和4年度は全国平均と同じであったが、令和5年度は全国平均よりも1.9ポイント上回っている。 今後も児童が体験や活動を通して地域について学んだり、貢献したりする機会を充実させ、自己有用感を感じられるようにすることで、地域を愛する気持ちを育てていく。	学校教育課	① 計画どおり
				実績値(単年)	%	45.7	46.4	調査なし	50.8	51.3	78.7						
				達成率	%	-	-	-	90.7%	90.0%	135.7%						
数値目標	13	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることのある児童生徒の割合(中学校)	当該年度実施の「全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査」で、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることのある児童生徒の割合」と回答した割合。 ※義務教育学校は、前期課程と後期課程に分けて集計。	目標値(単年)	%	-	-	-	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	① 順調	令和5年度「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか」という質問に変更になったため、実績値が高くなっている。令和5年度は全国平均よりも7.7ポイント上回っている。各中・義務教育学校で地域の人・もの・事と関わる学習を工夫して設定している成果であると考え。 今後も生徒が体験や活動を通して地域について学んだり、貢献したりする機会を充実させ、自己有用感を感じられるようにすることで、地域を愛する気持ちを育てていく。	学校教育課	① 計画どおり
				実績値(単年)	%	38.8	42.0	調査なし	45.9	42.9	71.6						
				達成率	%	-	-	-	112.0%	102.1%	166.5%						
数値目標	14	生涯学習講座の参加者の満足度	当該年度実施の生涯学習講座参加者アンケートで、受講内容について「大変満足」または「満足」と回答した参加者の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	85.0	87.0	88.0	89.0	90.0	② 概ね順調	今後も、生涯学習講座を麒麟のまちアカデミーとして一体的に運営し、参加者のニーズを講座内容に反映させながら、講座内容の満足度の向上を図っていく。	生涯学習・スポーツ課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	%	-	83.0	57.0	83.3	92.0	85.0						
				達成率	%	-	-	-	98.0%	105.7%	96.6%						

【重点施策】教育の充実・郷土愛の醸成

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合計画 委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(小学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童生徒の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	② 概ね 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は、平成30年度以降87%を上回っている。魅力と徹底の授業づくりを行っている成果であると考えられる。今後も、魅力と徹底の授業づくりを推進していく。	学校教育課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	%	87.5	88.2	88.8	88.8	87.1	87.1						
				達成率	%	-	-	-	98.7%	95.7%	94.7%						
KPI	16	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(中学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童生徒の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	82.0	83.0	84.0	85.0	86.0	② 概ね 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は81.9%であり、高い水準を保っており、魅力と徹底の授業づくりを行っている成果であると考えられる。今後も、魅力と徹底の授業づくりを推進していく。	学校教育課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	%	80.0	80.2	81.1	82.9	83.0	81.9						
				達成率	%	-	-	-	101.1%	100.0%	97.5%						
KPI	17	学校が楽しいと思う児童生徒の割合(小学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	② 概ね 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は、88.2%で概ね順調である。今後も、特色ある学校づくり、魅力ある授業づくりを推進していく。	学校教育課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	%	89.5	87.8	89.1	89.5	89.5	88.2						
				達成率	%	-	-	-	99.4%	98.4%	95.9%						
KPI	18	学校が楽しいと思う児童生徒の割合(中学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	89.0	90.0	91.0	92.0	93.0	② 概ね 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒の割合は、89.4%で概ね順調である。今後も、特色ある学校づくり、魅力ある授業づくりを推進していく。	学校教育課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	%	86.9	88.3	89.3	87.5	89.7	89.4						
				達成率	%	-	-	-	98.3%	99.7%	98.2%						

【重点施策】生涯学習の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	19	地区公民館事業の取組評価	当該年度実施の地区公民館事業自己評価において、中程度より高いと回答した事業の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	100	100	100	100	① 順調	令和4年度より、生涯学習事業実績報告に「生涯学習事業自己評価・点検シート」による自己評価を実施している。自己評価による実施事業内容の振り返りを行うことにより、次年度事業の取組に反映させていきたい。	生涯学習・スポーツ課	① 計画どおり
				実績値(単年)	%	-	-	-	-	100	100						
				達成率	%	-	-	-	-	100.0%	100.0%						
KPI	20	地区公民館への専門職員の配置割合	当該年度末の社会教育士または社会教育主事任用資格を持つ者が配置された地区公民館の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	15.0	20.0	30.0	35.0	40.0	③ やや遅延	資格取得に1か月間の講習を受講する必要があるが、地区公民館業務と調整しながら参加することとなるため、なかなか取得が進まない状況ではあるが、着実に取得者を増やしている。複数年の受講をしていただくなど、引き続き、積極的な参加を促進していきたい。	生涯学習・スポーツ課	③ 目標をやや下回る
				実績値(単年)	%	-	-	12.0	12.0	12.0	13.0	18.0					
				達成率	%	-	-	-	80.0%	65.0%	60.0%						
KPI	21	地域学校協働本部の設置数	地域学校協働本部を設置した当該年度末の小・中・義務教育学校区数。	目標値(単年)	校区	-	-	-	10	14	14	30	43	① 順調	これまでの地域学校協働本部を広めるための広報などの取組が実を結び令和5年度の設置数が目標値を上回った。引き続き、学校同士のネットワークをするなど、地域学校協働活動推進員を配置している地区以外にも、地域学校協働本部を広めていき、目標値を達成していけるように努めていく。	生涯学習・スポーツ課	① 計画どおり
				実績値(単年)	校区	-	-	1	1	3	5	18					
				達成率	%	-	-	-	30.0%	35.7%	128.6%						

【柱Ⅱ】誰もが活躍できるしごとづくり

【基本目標Ⅱ-1】稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 （総合企画委員）
														評価	評価コメント （課題・今後の方向性等）		
数値目標	22	就業者1人あたりの市内GDP	就業者1人当たりの当該年度の市町村内総生産（名目）の本市の値。	目標値 (単年)	千円	-	6,800	6,970	7,140	7,310	7,478			② 概ね 順調	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、GDPはコロナ前の水準に戻ってきている。 今後さらなる達成率を上げるために、就業者一人一人が効率的に付加価値を作り出すことが重要であり、労働生産性向上に繋がる施策とともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）等の取り組みを推進していく。	経済・雇用戦略課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	千円	6,710	調査未実施	6,381	6,755								
				達成率	%	-	-	91.5%	94.6%								
数値目標	23	大学生県内就職率	当該年度の県内2大学（学部卒）の全就職内定者のうち県内就職内定率。	目標値 (単年)	%	-	-	-	25.0	25.8	26.6	27.4	28.2	② 概ね 順調	令和5年度卒業生（学部卒）の県内企業就職率は22.0%と、昨年度より0.7ポイント増加した。一方で、人手不足により大都市圏の企業が採用活動が早期化及び活発化している。 引き続き、県やふるさと定住機構と連携を図り、学生が県内企業や地域の良さを知る機会を創出し、県内就職率の向上に努めていく。	経済・雇用戦略課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	%	23.4		17.2	17.7	21.3	22.0						
				達成率	%	-	-	-	70.8%	82.6%	82.7%						
数値目標	24	市内製造品出荷額等	当該年の経済構造実態調査（製造業事業所調査（経済産業省））による製造品出荷額等の本市の値。	目標値 (単年)	億円	-	2,726	2,617	2,669	2,749	2,867			① 順調	原材料、原油価格の高騰や半導体の供給不足などの影響で、地元製造業の景況感が厳しい状況にある中、電子部品・デバイス・電子回路、機械器具製造業などが増加した。これは、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、経済活動がコロナ禍前に戻りつつあることが要因であると考えられる。 今後も積極的に経済情勢や企業ニーズに対応した企業支援を行い、さらなる改善を目指す。	企業立地・支援課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	億円	2,811	2,707	2,649	2,971								
				達成率	%	-	99.3%	101.2%	111.3%								
数値目標	25	市内事業所数	当該年の経済センサス（基礎・活動）調査における事業所数の本市の値。	目標値 (単年)	件	-	-	-	8,882	-	-	9,018	-	⑤ 評価対象外	市内事業所数は、経済センサス基礎調査または活動調査によるものであり、次回調査年度である令和6年度の実績値により評価を実施する。	企業立地・支援課	評価対象外
				実績値 (単年)	件	-	9,996	-	8,537	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	96.1%	-	-	-					
数値目標	26	市内農業産出額	農林水産省が生産農業所得統計により推計した当該年の市町村別農業産出額の本市の値。	目標値 (単年)	億円	-	-	130	130	136	143	150		① 順調	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵攻等国際情勢の影響による、米価の下落や燃油、生産資材の高騰が本市の農業にも影響を及ぼしたが、令和3年度に引き続き、目標値を上回った。 「鳥取県農業生産1千億達成プラン」や「鳥取県みどりの食料システム戦略基本計画」を県や東部4町、JA等と連携し推進するとともに、経費削減や農業所得向上に資する支援策のより一層の強化を図っていく。	農政企画課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	億円	129	152	152	140	140							
				達成率	%	-	-	116.9%	107.7%	102.9%							

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	27	市内木材搬出量	当該年度の林業経営体の経営計画に基づく市内の間伐木材搬出量。	目標値(単年)	m	-	-	-	43,303	45,478	47,652	49,826	52,000	③ やや遅延	樹木の成長には間伐による森林整備が必要であるが、伐期を迎えた森林が多くなってきており、間伐から主伐への方針転換が進み、間伐木材搬出量が減少しており、目標が達成されていない。 今後も継続して間伐に対する支援を行う。また、令和5年度より行っている、主伐に対する支援も継続して行う。	林務水産課	③ 目標をやや下回る
				実績値(単年)	m	-	38,955	39,381	34,015	33,309	34,833						
				達成率	%	-	-	-	78.6%	73.2%	73.1%						
数値目標	28	市内漁獲量	当該年の海水面漁業の市内漁獲量。	目標値(単年)	t	-	-	-	2,203	2,203	2,203	2,203	2,203	③ やや遅延	今後も担い手の確保・育成に努め、漁獲量の維持に取り組んでいく。	林務水産課	③ 目標をやや下回る
				実績値(単年)	t	-	2,203	2,127	1,968	1,793	1,698						
				達成率	%	-	-	-	89.3%	81.4%	77.1%						

【重点施策】持続可能な経済成長の実現

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
KPI	29	補助事業(所得向上メニュー)指定企業における投下固定資産額の累計	R3~7年度の立地促進補助金(所得向上メニュー)指定企業の計画投下固定資産額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	④ 遅延	企業の設備投資による生産性向上は従業員の所得向上に繋がるものではあるが、設備投資と並行して賃上げを行うことに難しさを感じる企業も少なくない。しかし、物価高や人手不足に対応する形で賃上げの動きが全国的に拡大していることを踏まえると、制度の需要は低くないと考える。 今後も経済情勢を踏まえ、支援策の見直しを図りながら企業の設備投資を支援していく。	企業立地・支援課	④ 目標を大きく下回る
				目標値(累計)	千円	-	-	-	200,000	400,000	600,000	800,000	1,000,000					
				実績値(単年)	千円	-	177,000	0	0	142,000	187,610							
				実績値(累計)	千円	-	-	-	0	142,000	329,610							
				達成率	%	-	-	-	0.0%	35.5%	54.9%							
KPI	30	市公式インターネットショップ「とっとり市」の売上金額の累計	R3~7年度のインターネットショップの売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	26,692	32,030	38,436	46,124	55,349	① 順調	単年度売上は、前年度・前々年度と比較し減少しているが、他財源を用いた長期間にわたる大型キャンペーンを実施していないためと考えられ、売上のベースは伸長しているものと考えられる。令和6年度から運営の移管を実施し、「公式」から「公認」となったインターネットショップであるが、引き続きベースとなる売上水準を伸長させるため、参加店舗の拡大、状況に即応したキャンペーンの実施などの施策を実施していく。	経済・雇用戦略課	① 計画どおり	
				目標値(累計)	千円	-	-	-	26,692	143,435	181,871	227,996	283,344					
				実績値(単年)	千円	-	23,210	63,616	111,405	114,687	86,812							
				実績値(累計)	千円	-	-	-	111,405	226,092	312,904							
				達成率	%	-	-	-	417.4%	157.6%	172.0%							
KPI	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	R3~7年度のインターンシップ参加者のうち、市内に就業した人数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	2	2	2	2	2	④ 遅延	新型コロナウイルス感染症による制限がなくなり、対面式のインターンシップを行った。令和5年度中の参加人数は1名にとどまったが、市内企業への就業に至った。円安基調が維持され、金銭面での日本での就業の優位性が低下している状況にあるため、金銭面以外の優位性を発掘し、インターンシップ事業に活かしていくことが必要である。	経済・雇用戦略課	④ 目標を大きく下回る	
				目標値(累計)	人	-	-	-	2	4	6	8	10					
				実績値(単年)	人	-	2	0	0	0	1							
				実績値(累計)	人	-	-	-	0	0	1							
				達成率	%	-	-	-	0.0%	0.0%	16.7%							

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
KPI	32	市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計	R3～7年度の市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	10	10	10	10	10	10	② 概ね 順調	鳥取城北日本語学校第5期生についてはコロナ禍のため十分な営業活動ができず、目標を下回る結果となった。今後でも市内企業の人材確保を推進するため、日本語学校と連携し市内企業に対する事業周知を進めるとともに、内容を検討しながら日本語学校の支援を行っていく。	企業立地・支援課	② ほぼ計画どおり
				目標値(累計)	人	-	-	-	10	20	30	40	50					
				実績値(単年)	人	-	10	9	0	22	4							
				実績値(累計)	人	-	-	-	0	22	26							
				達成率	%	-	-	-	0.0%	110.0%	86.7%							
KPI	33	まちづくり投融資制度(投資・融資)の活用実績額の累計	R3～7年度のまちづくり投融資制度を活用した企業・創業に係る投資・融資の活用実績の合計額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	97,000	97,000	68,000	68,000	68,000	68,000	④ 遅延	コロナ対策の金融制度が充実していた背景があり、指標実績値は低調が続いた。アフターコロナで企業活動が従来通りに戻ることを想定し、本制度の取扱期間を3年間(令和7年度まで)延長及び制度活用の幅を広げるための要件の見直しを行った。中心市街地等の活性化に資する起業・創業への支援は継続して行う必要があると考え、制度周知及び継続した案件発掘、活用推進を行っていく。	企業立地・支援課	④ 目標を大きく下回る
				目標値(累計)	千円	-	-	-	97,000	194,000	262,000	330,000	398,000					
				実績値(単年)	千円	-	72,000	54,000	0	0	0							
				実績値(累計)	千円	-	-	-	0	0	0							
				達成率	%	-	-	-	0.0%	0.0%	0.0%							
KPI	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	R3～7年度の第三者承継を行うため専門家に相談する企業に対する補助金交付件数の累計。	目標値(単年)	社	-	-	-	10	10	10	10	10	10	④ 遅延	事業者にとって使いやすい補助金になるよう制度改正などを行ったが、周知不足や市内に事業承継に関する支援機関が少ないことなどから、本補助金の活用までには至らなかったと推測する。しかしながら、鳥取県の後継者不在率は71.5%と高く、本市においても経営者の高齢化が進む中、多くの事業者が事業承継に直面している。令和6年2月に設立された「とっとり今から備える事業承継コンソーシアム」に参画し、関係団体と連携して取り組むことで、制度周知やより効果的な支援策の検討を図る。	企業立地・支援課	④ 目標を大きく下回る
				目標値(累計)	社	-	-	-	10	20	30	40	50					
				実績値(単年)	社	-	-	5	4	1	0							
				実績値(累計)	社	-	-	-	4	5	5							
				達成率	%	-	-	-	40.0%	25.0%	16.7%							
KPI	35	農商工連携マッチング支援事業者数の累計	R3～7年度の農商工連携マッチング委託事業における支援事業者数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	25	25	25	25	25	25	① 順調	単年度実績を計画を上回る形で達成することができた。新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、社会経済活動の正常化が進み、首都圏での営業活動や商談会を積極的に行うことができ、販売するまでの工程の改善についても伴走支援できた。今後も委託先と連携を取りながら、既存の支援内容にとどまらず更なるマッチング支援を推進する。	企業立地・支援課	① 計画どおり
				目標値(累計)	件	-	-	-	25	50	75	100	125					
				実績値(単年)	件	-	25	29	24	25	31							
				実績値(累計)	件	-	-	-	24	49	80							
				達成率	%	-	-	-	96.0%	98.0%	106.7%							

12

【重点施策】工業の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 総合企画委員
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	36	補助事業指定企業における投下固定資産額の累計	R3～7年度の立地促進補助金指定企業の計画投下固定資産額の累計。	目標値(単年)	億円	-	-	-	50	50	50	50	50	③ やや遅延	アフターコロナとなり見送っていた投資計画の再開や受注増に対応するための投資など、企業活動の回復に合わせて設備投資も微増したものとみられる。コロナ禍収束後には円安や物価高騰など市内企業を取り巻く環境は刻一刻と変化するため、経済情勢の変化を踏まえつつ、設備投資の支援を継続し、地域経済の発展を図る。	企業立地・支援課	③ 目標をやや下回る
				目標値(累計)	億円	-	-	-	50	100	150	200	250				
				実績値(単年)	億円	-	50.2	169.5	35.7	19.4	48.5						
				実績値(累計)	億円	-	-	-	35.7	55.1	103.6						
				達成率	%	-	-	-	71.4%	55.1%	69.1%						
KPI	37	産学官連携による新技術開発事業活用件数の累計	R3～7年度の鳥取市産学官連携地域経済活性化事業補助金活用件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	1	1	1	1	1	④ 遅延	近年、国・県の補助制度が充実しているため、本市では令和5年度より本事業を廃止した。令和6年度以降については、新たな施策の有り方について検討する。	経済・雇用戦略課	④ 目標を大きく下回る
				目標値(累計)	件	-	-	-	1	2	3	4	5				
				実績値(単年)	件	-	0	0	0	0	0						
				実績値(累計)	件	-	-	-	0	0	0						
				達成率	%	-	-	-	0%	0.0%	0.0%						
KPI	38	鳥取市国際経済発展協議会の地元企業海外進出等に対する支援の累計件数	R3～7年度の鳥取市国際経済発展協議会における地元企業の貿易相談等、マッチング支援件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	177	177	177	177	177	③ やや遅延	新型コロナウイルス感染症による制限はなくなったものの、依然としてコロナ禍以前に比べて数値は落ち込んだままであり、単年目標値(177件)に対して実績値は60%程度(106件)にとどまった。今後はさらに海外との貿易も活発化していく中で、積極的に地元企業への働きかけを行う必要がある。	経済・雇用戦略課	③ 目標をやや下回る
				目標値(累計)	件	-	-	-	177	354	531	708	885				
				実績値(単年)	件	-	161	151	103	116	106						
				実績値(累計)	件	-	-	-	103	219	325						
				達成率	%	-	-	-	58.2%	61.9%	61.2%						

【重点施策】商業とサービス業等の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
KPI	39	新規のオフィス設置数(市関与分)の累計	R3~7年度の市が関与した県外からのオフィスの新築・移転件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	2	2	2	2	2	2	① 順調	コロナ禍を経て、事務系企業を中心に地方へのオフィス進出の動きが活発化しており、実績としては目標を上回る結果となった。引き続き、県外への営業活動を積極的に展開するとともに、ウェブ会議等オンラインツールを有効に活用しながら、制度内容の情報発信等を積極的に行い、本市へのオフィス移転の促進を図る。	企業立地・支援課	① 計画どおり
				目標値(累計)	件	-	-	-	2	4	6	8	10					
				実績値(単年)	件	-	0	1	1	1	7							
				実績値(累計)	件	-	-	-	1	2	9							
				達成率	%	-	-	-	50.0%	50.0%	150.0%							
KPI	40	「鳥取市ふるさと物産館」等の売上金額の累計	R3~7年度の鳥取市ふるさと物産館の売上金額を含む観光コンベンション協会の物産部門での売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	30,774	30,775	30,774	30,775	30,789	① 順調	アフターコロナの情勢が本格化し、店頭売上がコロナ禍前の水準近くまで回復した。他方、インターネットなどの非リアルでの売上が落ち込んでいる。別指標のインターネットショップ事業を令和6年度より引き継いだことを契機と捉え、リアルと非リアルを両輪とし、安定して成長できる環境作りが必要である。	経済・雇用戦略課	① 計画どおり	
				目標値(累計)	千円	-	-	-	30,774	61,549	92,323	123,098	153,887					
				実績値(単年)	千円	-	38,908	30,484	27,741	30,533	34,920							
				実績値(累計)	千円	-	-	-	27,741	58,274	93,194							
				達成率	%	-	-	-	90.1%	94.7%	100.9%							
KPI	41	麒麟のまち関西情報発信拠点での売上金額の累計	R3~7年度の麒麟のまち関西情報発信拠点の飲食及び物販の売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	77,026	77,025	77,026	77,025	77,026	④ 遅延	令和5年度は人の流れが活発になってきたと言えるが、本施設の利用者数、売上とも見合う上昇は表れていない。本施設を圏域のPR拠点として効果的に活用・維持管理するためには、本施設の魅力を高め、利用者数及び売上金額をコロナ前の水準まで回復させる必要がある。また、2025大阪・関西万博を踏まえ、麒麟のまち圏域の各町と連携し、圏域の情報を発信し、多くのお客様に圏域の魅力を知っていただくよう取り組んでいく事が重要である。	経済・雇用戦略課	④ 目標を大きく下回る	
				目標値(累計)	千円	-	-	-	77,026	154,051	231,077	308,102	385,128					
				実績値(単年)	千円	-	72,703	36,024	30,153	44,054	46,569							
				実績値(累計)	千円	-	-	-	30,153	74,207	120,776							
				達成率	%	-	-	-	39.1%	48.2%	52.3%							
KPI	42	市公設地方卸売市場の取扱高の累計	R3~7年度の市公設地方卸売市場の卸売業者4社の売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	7,340,755	7,340,755	7,340,755	7,340,755	7,340,755	② 概ね順調	令和8年2月末の全面供用開始に向け、再整備事業は順調に進捗している。令和5年度には水産物棟等の一部棟の供用を開始し、令和6年度には、前年度に設計が完了したその他棟の施工を行う。事業者の営業をき損せず、再整備事業を着実に実施するとともに、機能が強化された施設の優位性を活かし、販売数量の増加を事業者に促していく取組みが必要である。	経済・雇用戦略課	② ほぼ計画どおり	
				目標値(累計)	千円	-	-	-	7,340,755	14,681,510	22,022,265	29,363,020	36,703,775					
				実績値(単年)	千円	-	7,340,755	7,470,724	7,145,773	6,978,902	7,000,969							
				実績値(累計)	千円	-	-	-	7,145,773	14,124,675	21,125,644							
				達成率	%	-	-	-	97.3%	96.2%	95.9%							



【重点施策】農林水産業の成長産業化

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 総合企画 委員	
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
KPI	43	市内の新規農業担い手の累計	R3~7年度の市内の新規就農者、認定農業者の新規認定件数及び農業生産法人、集落営農組織などの新規設立件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	14	14	14	14	14	14	③ やや遅延	認定新規農業者や認定農業者を目指す方が少なかったため、目標を下回った。今後、とっとりふるさと就業舎での新規就農者の育成をはじめ、規模拡大を目指す意欲ある農業者や集落営農組織化を予定する集落を支援し、担い手の確保を図っていく。	農政企画課	③ 目標をやや下回る
				目標値(累計)	件	-	-	-	14	28	42	56	70					
				実績値(単年)	件	-	10	7	13	8	7							
				実績値(累計)	件	-	-	-	13	21	28							
				達成率	%	-	-	-	92.9%	75.0%	66.7%							
KPI	44	市内の新規林業従事者数の累計	R3~7年度の市の研修事業実施に伴う市内の新規林業就業人数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	6	6	6	6	6	6	① 順調	新規就業人数は順調に伸びており、目標を達成している状況であるが、林業労働者の高齢化、担い手不足の状況は変わっておらず、林業労働者の福祉向上、労働条件の改善を図り、担い手の育成を促進するため、継続して取り組んでいく。	林務水産課	① 計画どおり
				目標値(累計)	人	-	-	-	6	12	18	24	30					
				実績値(単年)	人	-	6	3	7	10	8							
				実績値(累計)	人	-	-	-	7	17	25							
				達成率	%	-	-	-	116.7%	141.7%	138.9%							
KPI	45	市内の新規漁業就業人数の累計	R3~7年度の市内の新規漁業就業人数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	3	2	1	2	1	④ 遅延	新規就業をめざし7名が研修を行っていたが、体調不良等により3人が研修中止となり新規就業者は1人となった。今後も研修事業に要する経費を支援し、減少傾向にある担い手の確保・育成に取り組んでいく。	林務水産課	④ 目標を大きく下回る	
				目標値(累計)	人	-	-	-	3	5	6	8	9					
				実績値(単年)	人	-	0	1	1	1	1							
				実績値(累計)	人	-	-	-	1	2	3							
				達成率	%	-	-	-	33.3%	40.0%	50.0%							
KPI	46	市戦略作物の出荷量	当該年度の戦略作物のうち、3種(アスパラガス、ブロッコリー、生姜)の出荷量。	目標値(単年)	t	-	-	-	45	46	48	50	53	③ やや遅延	出荷量は36トンで、令和2年度からの状態を維持しているものの、目標を下回った。引き続き、研修会や指導会等による技術対策の徹底により品質向上と安定生産に努める。特にアスパラガスは、鳥取型低コストハウスによる施設化やJA独自のアタック8・8パイプハウスリース事業を推進し、より収益性の高い作付体系へ誘導を図っていく。	農政企画課	③ 目標をやや下回る	
				実績値(単年)	t	-	45	34	35	36	36							
				達成率	%	-	-	-	77.8%	78.3%	75.0%							
KPI	47	キジハタ漁獲量	当該年のキジハタ漁獲量。	目標値(単年)	t	-	-	-	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	③ やや遅延	稚魚放流を県と連携して支援しており、漁獲量と放流量の関係を検証しながら稚魚放流を支援し、減少傾向にある漁獲量の維持に取り組んでいく。	林務水産課	③ 目標をやや下回る	
				実績値(単年)	t	-	4.9	5.1	3.5	2.8	3.2							
				達成率	%	-	-	-	71.4%	57.1%	65.3%							
KPI	48	担い手農家への農地集積率	R7年度の担い手農家への農地集積面積の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	26.3	29.7	33.1	36.5	40.0	③ やや遅延	担い手農家の減少や農業経営の規模を拡大し農地を集積する農業者が少なかったため、令和5年度の集積率は24.4%と目標を下回ったが、平成30年度の集積率まで持ち直すことができた。引き続き、新規就農者や意欲ある農業者へ機械施設整備支援等を行い、作業効率の向上や作業コストの低減を図りながら、農地集積率の向上に取り組んでいく。	農政企画課	③ 目標をやや下回る	
				実績値(単年)	%	24.5	23.4	22.9	22.2	22.6	24.4							
				達成率	%	-	-	-	84.4%	76.1%	73.7%							

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 総合評価 委員
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	49	森林経営計画等作成面積	当該年度の本市の森林経営計画及び経営管理集積計画作成面積。	目標値(単年)	千ha	-	-	-	10	11	12	13	14	① 順調	現段階では順調に森林経営計画等の作成面積は目標を達成している。 森林は植林から伐採まで長期に時間を要するため、計画的な施業が必要となる。また、効率的な森林施業には、一定規模の森林面積が必要であり、森林の集約化のためにも森林経営計画の作成は必要である。森林経営管理法(平成30年制定)に基づく森林経営管理制度(新たな森林管理システム)の推進とともに継続して実施する。	林務水産課	① 計画どおり
				実績値(単年)	千ha	-	9	10	11	11	13						
				達成率	%	-	-	-	110.0%	100.0%	108.3%						
KPI	50	農畜産物の販路拡大マッチング件数	R3～7年度の生産者とバイヤー等消費者との農畜産物の商談成立件数(市関与分)の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	6	6	6	6	6	① 順調	商談会を31回開催し、目標を上回る26件の商談成立となった。 引き続き、地域商社とっとり等と連携した商談会の開催や催事等への出展により新たな販路開拓を行うとともに、首都圏への展開や事業で得た関西圏等のニーズを産地にフィードバックし、産地化への取組を更に推進していく。	農政企画課	① 計画どおり
				目標値(累計)	件	-	-	-	6	12	18	24	30				
				実績値(単年)	件	-	7	7	10	15	26						
				実績値(累計)	件	-	-	-	10	25	51						
				達成率	%	-	-	-	166.7%	208.3%	283.3%						
KPI	51	6次産業化取組支援件数の累計	R3～7年度の6次産業化の取組に対する支援件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	1	1	5	1	1	② 概ね順調	令和5年度の補助申請実績はなかったが、令和6年度に向けたプラン2件を計画承認した。 引き続き、県・金融機関・商工団体等と連携し、農業者の所得向上と地域経済の活性化に有効な6次産業化を推進していく。	農政企画課	② ほぼ計画どおり
				目標値(累計)	件	-	-	-	1	2	7	8	9				
				実績値(単年)	件	-	0	2	4	2	0						
				実績値(累計)	件	-	-	-	4	6	6						
				達成率	%	-	-	-	400.0%	300.0%	85.7%						
KPI	52	多面的機能支払交付金対象の農用地面積の割合	当該年度末の農業振興地域内の農用地面積に占める多面的機能支払交付金対象の農用地面積の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	① 順調	近年、農業従事者の高齢化や農村地域の過疎化に伴う集落機能の低下等により、地域の共同活動によって支えられている農業・農村の有する多面的機能の発揮に支障が生じつつある。本事業は、地域資源の保全管理や施設の長寿命化のための活動といった農業・農村を守る地域共同の取り組みを後押しするものであり、今後も農業・農村の有する多面的機能が適切に維持・発揮されるよう、引き続き事業を推進していく必要がある。	農村整備課	① 計画どおり
				実績値(単年)	%	-	49.2	49.2	50.2	53.7	52.4						
				達成率	%	-	-	-	100.4%	105.3%	100.8%						
KPI	53	スマート農業支援件数の累計	R3～7年度の先進技術の導入・実証などの取組への支援件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	2	15	7	3	3	② 概ね順調	新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢による、生産資材の高騰による農業経営の不安定化に加え、農業機械も高騰しており、農業者も機械導入を見合わせている状況にある。そのような中、令和5年度単年目標は7件に対し6件とほぼ達成しているものの、累計目標は達成できなかった。 引き続きスマート農業技術の普及を推進するとともに、新たな意欲ある農業者(担い手)を育成・支援することで、本市の農業の振興を図っていく。	農政企画課	② ほぼ計画どおり
				目標値(累計)	件	-	-	-	2	17	24	27	30				
				実績値(単年)	件	-	2	35	7	9	6						
				実績値(累計)	件	-	-	-	7	16	22						
				達成率	%	-	-	-	350.0%	94.1%	91.7%						

16

【柱Ⅲ】にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり

【基本目標Ⅲ-1】都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり

17

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 総合企画委員
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	54	移住定住者数	R3～7年度に本市に移住した人数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	480	480	480	480	480	② 概ね順調	地域振興課	② ほぼ計画どおり	
				目標値(累計)	人	-	-	-	480	960	1440	1920	2400				
				実績値(単年)	人	-	359	389	462	458	451						
				実績値(累計)	人	-	-	-	462	920	1371						
				達成率	%	-	-	-	96.3%	95.8%	95.2%						
数値目標	55	観光入込客数	県が発表する「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」の年間観光入込客数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	300.0	302.5	305.0	307.5	310.0	① 順調	観光・ジオパーク推進課	① 計画どおり	
				実績値(単年)	万人	-	295.0	170.0	187.0	243.0	311.0						
				達成率	%	-	-	-	62.3%	80.3%	102.0%						
数値目標	56	市民愛着度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「本市に愛着や親しみを感じている」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	⑤ 評価対象外	政策企画課	評価対象外	
				実績値(単年)	%	-	61.5	-	-	-	-	-	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-				-
数値目標	57	地域魅力度	ブランド総合研究所が行う当該年の地域ブランド調査結果	目標値(単年)	位	-	-	-	154	140	127	113	100	⑥ 未達成	政策企画課	④ 目標を大きく下回る	
				実績値(単年)	位	-	181	187	218	171	179						
				達成率	-	-	-	-	未達成	未達成	未達成						
数値目標	58	麒麟のまち圏域の人口	麒麟のまち圏域構成市町の当該年の国勢調査人口の合計値。 ※「現状値」は、県が発表する構成市町の10月1日の推計人口の合計値。	目標値(単年)	人	-	-	-	251,631	249,914	248,197	246,480	244,763	② 概ね順調	政策企画課	② ほぼ計画どおり	
				実績値(単年)	人	-	255,065	253,874	251,109	248,626	245,241						
				達成率	%	-	-	-	99.8%	99.5%	98.8%						

【重点施策】ふるさと・いなか回帰の促進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 総合計画 委員
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	59	移住相談登録者数	本市への移住に向けて相談員によるサポートを希望するために相談登録を行った当該年度の人数。	目標値(単年)	人	-	-	-	200	250	320	400	500	③ やや遅延	単年度の移住相談登録者数は前年度より54人少ない233人となった。来年度以降の高い目標値の達成に向けては、各種SNSや令和4年度に運営開始した移住定住専用ポータルサイトでの情報発信に加え、関係機関や他部署の取組に係る情報収集に努めるとともに、体験事業など本市の魅力を直接伝える取組の実施も検討していく。	地域振興課	③ 目標をやや下回る
				実績値(単年)	人	-	449	223	168	287	233						
				達成率	%	-	-	-	84.0%	114.8%	72.8%						
KPI	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	R3～7年度の移住希望者等が賃貸又は購入できる物件の登録件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	10	10	10	10	10	① 順調	昨年度を上回る13件の空き家登録となった。中山間地域の空き家利活用は、地域団体等と連携して実施しているが、地域は空き家と捉えていても、物件所有者は空き家と考えていない場合や、空き家と認識しているが急ぎ対応する必要はないと考えている場合がある。さらには、活用できそうな状態の良い空き家でも所有者が不明というものもあり、様々な要因で登録が進んでいない。 今後は、空き家の利活用啓発や法に基づく固定資産税の納税者情報の活用を図りつつ、引き続き、地域団体等と連携した取組を行っていく。	地域振興課	② ほぼ計画どおり
				目標値(累計)	件	-	-	-	10	20	30	40	50				
				実績値(単年)	件	-	9	17	9	9	13						
				実績値(累計)	件	-	-	-	9	18	31						
				達成率	%	-	-	-	90.0%	90.0%	103.3%						
KPI	61	魅力ある民泊に向けた取組団体数	R3～7年度の中山間地域魅力ある民泊推進事業の補助団体の累計。	目標値(単年)	団体	-	-	-	1	1	1	2	2	③ やや遅延	累計ではまだ目標値に達していないが、単年度の目標値は達成した。 引き続き事業者に対し、本事業の周知を再度行い、より多くの民泊施設整備につなげていく。	地域振興課	③ 目標をやや下回る
				目標値(累計)	団体	-	-	-	1	2	3	5	7				
				実績値(単年)	団体	-	1	0	1	0	1						
				実績値(累計)	団体	-	-	-	1	1	2						
				達成率	%	-	-	-	100.0%	50.0%	66.7%						
KPI	62	関係人口拡大に取り組む団体の数	R3～7年度の関係人口拡大にむけた取組を実施する団体等の累計。	目標値(単年)	団体	-	-	-	1	2	2	1	1	② 概ね順調	既存の団体による取り組みは継続して行われており、関係人口の拡大による地域活性化事例について地域に情報発信を行い、取り組みの促進を図っているところではあるが、令和5年度に新たに取り組む団体は1団体であった。引き続き、既存団体の取り組み事例をより幅広く周知するなどして、新たに取り組む団体の開拓に努めていく。	地域振興課	② ほぼ計画どおり
				目標値(累計)	団体	-	-	-	1	3	5	6	7				
				実績値(単年)	団体	-	1	1	3	0	1						
				実績値(累計)	団体	-	-	-	3	3	4						
				達成率	%	-	-	-	300.0%	100.0%	80.0%						

【重点施策】滞在型観光の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	63	観光入込客数(再掲)	県が発表する「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」の年間観光入込客数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	300	302.5	305	307.5	310	① 順調	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたこともあり、コロナ禍前の令和元年を超える数値となった。今後も観光資源の磨き上げや情報発信の強化、受入環境の整備等を行い、滞在型観光の推進に取り組む。	観光・ジオパーク推進課	① 計画どおり
				実績値(単年)	万人	-	295	170	187	243	311						
				達成率	%	-	-	-	62.3%	80.3%	102.0%						
KPI	64	外国人宿泊者数	市内の主要宿泊施設の年間外国人宿泊者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	33,800	34,100	34,400	34,700	35,000	② 概ね順調	新型コロナウイルス感染症が収束しインバウンド需要は回復傾向にある。引き続きアフターコロナにおけるインバウンド需要の回復に向け、情報発信の強化等に取り組む。	観光・ジオパーク推進課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	人	-	33,041	2,766	1,118	5,318	28,116						
				達成率	%	-	-	-	3.3%	15.6%	81.7%						

【重点施策】シティセールスの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	65	シティセールス取組評価値	当該年度実施の鳥取市LINEアンケート調査で「評価できる」「やや評価できる」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	65.3	66.8	68.3	69.8	71.5	② 概ね順調	令和3年度実績から年々実績値が低下し、目標に到達しなかった。SQアクションプランの策定・進捗管理やSQのあるまち職員研修をとおし職員のさらなる資質向上を図るとともに、これまで取り組んできた各種手法・情報発信を活かし、本市の魅力の向上・浸透につながるようシティセールスの視点を踏まえた施策の推進を図る。	政策企画課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	%	-	-	63.8	67.7	66.9	62.6						
				達成率	%	-	-	-	103.7%	100.1%	91.7%						
KPI	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	当該年度末の市が管理する主なSNSのフォロワー数。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,000	36,000	45,000	50,000	55,000	① 順調	本市が管理する主なSNSのフォロワー数は、毎年順調に増加している。公式LINEについては、令和4年度に引き続き、配信機能の充実(ごみの収集日配信、セグメント配信等)を図るとともに、キャンペーン等の実施により登録者数の増加に取り組んでおり、本市が管理しているSNSでも特に多くの登録者数を集め、市政情報の情報発信・情報提供に大きく寄与しているものと考えている。今後も発信する情報内容やタイミング等に適したSNSを活用し、効果的な情報発信に努める。	秘書課 広報室	① 計画どおり
				実績値(単年)	人	-	-	20,655	25,060	40,923	55,033						
				達成率	%	-	-	-	125.3%	113.7%	122.3%						

【重点施策】文化芸術によるまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	市内文化活動団体連合組織の当該年度6月末の加盟団体数。	目標値(単年)	団体	-	-	-	203	203	203	203	203	② 概ね 順調	活動者の高齢化により団体数が減少していることを踏まえ、文化芸術活動の持続発展に向けて、新たな活動者の参入・発掘・育成を図る必要がある。 引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、補助制度による活動支援、次世代を対象とした芸術鑑賞教室・体験講座開催による人材育成、インターネットを通じた情報発信・普及啓発、文化施設の機能維持による活動・鑑賞環境整備などに取り組むことにより、文化芸術によるまちづくりの推進を図る。	文化交流課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	団体	-	-	203	199	194	191						
				達成率	%	-	-	-	98.0%	95.6%	94.1%						
KPI	68	文化芸術鑑賞者数	鳥取市補助事業等による当該年度の観覧者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	23,000	30,000	44,000	58,000	72,000	① 順調	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、文化芸術活動がコロナ前に戻りつつある中、さらなる鑑賞者数の増加に向けて、市民の文化芸術に対する関心喚起や意識高揚を図る必要がある。 引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、インターネットを通じた情報発信・普及啓発、文化施設の機能維持による活動・鑑賞環境整備などに取り組むことにより、文化芸術によるまちづくりの推進を図る。	文化交流課	① 計画 どおり
				実績値(単年)	人	-	61,280	22,930	23,969	47,995	56,780						
				達成率	%	-	-	-	104.2%	160.0%	129.0%						

【重点施策】自治体間連携の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	麒麟のまち圏域構成市町の年間観光入込客数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	707	720	733	746	759	② 概ね 順調	麒麟のまち圏域構成市町の年間観光入込客数は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたこともあり、回復傾向にある。 今後関係6町と連携し、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の活動を支援しながら魅力ある観光地づくりを進める。	観光・シオパーク推進課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	万人	-	680.9	438.2	480.0	552	628						
				達成率	%	-	-	-	67.9%	76.7%	85.7%						
KPI	70	麒麟のまち圏域への移住者数	麒麟のまち圏域構成市町のR3~7年度の移住者数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	718	718	718	718	718	① 順調	圏域の移住者数は昨年度より減少したものの、目標値を上回ることができた。直接的に移住者増に資する取組として、東京・大阪での全国規模の対面による移住相談会への出展や移住セミナー・体験ツアーを実施した。今後は、「第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」に基づく様々な分野の取組も活かしながら、引き続き、圏域市町で連携して移住促進に取り組んでいく。	地域振興課	① 計画 どおり
				目標値(累計)	人	-	-	-	718	1,436	2,154	2,872	3,590				
				実績値(単年)	人	-	673	699	780	723	701						
				実績値(累計)	人	-	-	-	780	1,503	2,204						
				達成率	%	-	-	-	108.6%	104.7%	102.3%						

20

【基本目標Ⅲ－２】快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	内部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	71	安全、迅速に移動できる幹線道路整備の市民満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	56.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 安全、迅速に移動できる幹線道路整備の推進のため、関係機関に対する要望活動、県道整備の費用負担、幹線市道の整備等に引き続き取り組んでいく。	都市企画課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	53.2	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					
数値目標	72	中心市街地の居住人口(社会増減数)	中心市街地の居住人口の社会増減数(転入者数-転出者数)の5年間(R3~7年度)の平均値。	目標値(単年)	人	-	-	-	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	⑥ 未達成	令和5年度単年度では、前年度と同程度の社会減となった。年代別で見ると、子育て世帯は転入超過となったが、主に進学や就職を迎えた年代の転出が多いことで、社会減となっている。また、計画期間における平均値もマイナスへと転じた。 今後は令和5年度に行った既存ストックのデータベース化を活かしたマッチングの促進や、街なか居住体験施設をより子育て世代に適した立地に移転することで、居住人口の増加を図っていく。加えて、中心市街地へのオフィス誘致など、働く場の確保という切り口で居住人口の増加を図る取組も検討していきたい。	まちなか未来創造課	④ 目標を大きく下回る
				実績値(単年)	人	-	60	50	68	-63	-62						
				実績値(平均)				68	2.5	-19							
				達成率	-	-	-	達成	達成	未達成							
数値目標	73	小さな拠点の形成箇所数	地域住民自らが将来にわたり安心して暮らし続けることができる地域づくりに主体的に取り組む「小さな拠点」の当該年度末の形成箇所数。	目標値(単年)	箇所	-	-	-	2	2	3	3	4	① 順調	本事業の周知をさらに進めていくことが必要である。そのうえで、地域の実情を把握し、地域の実情に合った必要な事業を取り込み、住民が主体となった「小さな拠点」形成に向けて引き続き支援を行っていく。	地域振興課	① 計画どおり
				実績値(単年)	箇所	-	1	1	3	4	4						
				達成率	%	-	-	-	150.0%	200.0%	133.3%						
数値目標	74	鉄道、バスなどの公共交通の便利さの満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	30.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 人口減少や自家用車への依存によって公共交通利用者が減少しており、公共交通事業者においても乗務員の人材不足や高齢化によって減便等が続くなど公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にある。市民が安心して暮らせるようキャッシュレス化の推進や異なる交通手段をシームレスにつなぐ取組など市民が利用しやすい満足度の高い公共交通を目指す。	交通政策課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	22.2	-	-	-	-						
				達成率	%	-	-	-	-	-	-						
数値目標	75	インターネットやケーブルテレビの情報通信環境の満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 超高速インターネット接続環境が未提供の地域に対して、CATVによる光ファイバー網を整備することで、全市光化が実現となった。また、有線テレビジョン放送施設の老朽化及び高速化対応のため、他事業者による超高速インターネット整備エリアにおいても順次FTTH化を進めることで、市民サービスの充足を図る。	デジタル戦略課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	39.5	-	-	-	-						
				達成率	%	-	-	-	-	-	-						

【重点施策】生活基盤の充実

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	76	高速道路整備に係る要望活動数	高速道路整備推進期成会による国・国会議員への当該年度の要望活動数。	目標値(単年)	回	-	-	-	4	4	4	4	4	① 順調	国や国会議員への要望活動は毎年実施してきており、停滞することなく事業の推進が図られている。引き続き、要望活動・啓発活動を積極的に行う。	都市企画課	① 計画どおり
				実績値(単年)	回	4	4	4	4	4	4						
				達成率	%	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%						
KPI	77	協働による芝生化の箇所数	公園・公共空地を芝生化した当該年度の箇所数。	目標値(単年)	箇所	-	-	-	61	65	69	73	77	② 概ね順調	地域からの申請による公園・公共空地での協働による芝生化は、概ね完了している状況のため、近年、実施箇所数が減少している。引き続き、鳥取市公園・スポーツ施設協会と連携を図りながら、芝生化の魅力を発信し、芝生化の促進を図っていく。	河川公園課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	箇所	-	59	59	59	60	61						
				達成率	%	-	-	-	96.7%	92.3%	88.4%						

【重点施策】中心市街地の活性化

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	78	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	② 概ね順調	令和5年度は、ほとんどの計測地点で通行量の増加が見られ、目標は未達成であるが、昨年度より通行量が増加となった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響下からの回復傾向に加え、賑わい創出に係る各種事業の取組効果によるものと考えられる。今後は、旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に係る事業や鳥取城跡の復元整備等のハード事業の進捗による効果をソフト事業でも促進することで、通行量の増加を図っていきたい。	まちなか未来創造課	③ 目標をやや下回る
				実績値(単年)	人	-	19,113	15,707	16,489	15,370	17,297						
				達成率	%	-	-	-	82.0%	75.7%	84.4%						
KPI	79	中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	② 概ね順調	令和5年度は、ほとんどの計測地点で通行量の増加が見られ、目標は未達成であるが、昨年度より通行量が増加となった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響下からの回復傾向に加え、賑わい創出に係る各種事業の取組効果によるものと考えられる。今後は、旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に係る事業や鳥取城跡の復元整備等のハード事業の進捗による効果をソフト事業でも促進することで、通行量の増加を図っていきたい。	まちなか未来創造課	③ 目標をやや下回る
				実績値(単年)	人	-	21,900	18,900	16,453	14,725	16,628						
				達成率	%	-	-	-	81.9%	72.5%	81.1%						

【重点施策】魅力ある中山間地域の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	内部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	80	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	R3～7年度の輝く中山間地域創出事業（ソフト事業）の取組件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	6	7	8	9	10	② 概ね 順調	目標値には達していないが、徐々に地域団体の取組が増えてきている。今後より効果的な事業展開を図るとともに、地域づくり活動の定着と継続発展を図る。	地域振興課	② ほぼ計画どおり
				目標値(累計)	件	-	-	-	6	13	21	30	40				
				実績値(単年)	件	-	7	4	4	7	6						
				実績値(累計)	件	-	-	-	4	11	17						
				達成率	%	-	-	-	66.7%	84.6%	81.0%						
KPI	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	R3～7年度の伝統工芸等後継者育成支援事業の活用実績数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	3	3	3	3	3以上	④ 遅延	伝統工芸の技術者が高齢化等により減少しつつあり、ふるさと産業の衰退が懸念される中、従来のように家族や地域からの後継者が望めない状況となっており、広く県内外からやる気のある研修生を募集する取組みが必要である。	経済・雇用戦略課	④ 目標を大きく下回る
				目標値(累計)	人	-	-	-	3	6	9	12	15以上				
				実績値(単年)	人	-	3	2	2	1	0						
				実績値(累計)	人	-	-	-	2	3	3						
				達成率	%	-	-	-	66.7%	50.0%	33.3%						
KPI	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	「とっとりふるさとリーダーアカデミー」で養成されたリーダーの当該年度末の人数。	目標値(単年)	人	-	-	-	280	320	330	340	350以上	① 順調	リーダー認定者数の目標は達成したが、参加者の高齢化や地域の偏りが見られるため、若年層が関心をもつようなテーマを取り扱う等して、ゼミ参加者の間口を広げていく必要がある。 今後は高校生、大学生も対象にしたゼミを開催する予定であり、継続して活動に取り組む個人や団体に対しては個別相談窓口により日々対応を続け、活動の深化を図っていく。	地域振興課	① 計画どおり
				実績値(単年)	人	-	275	292	316	343	369						
				達成率	%	-	-	-	112.9%	107.2%	111.8%						

【重点施策】交通ネットワークの充実

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	83	共助交通の導入件数	公共交通空白地等に導入されている当該年度の共助交通の件数。	目標値(単年)	件	-	-	-	5	7	8	8	8	② 概ね 順調	路線バスの減便・廃止が続く中で、共助交通の重要性が高まっている。共助交通を必要とする地域が安心して導入・運行継続できるよう支援を行う。また、運行団体が抱える不安や意見を市政に反映し、支援策の充実を図っていく。	交通政策課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	件	-	3	3	5	7	7						
				達成率	%	-	-	-	100%	100%	87.5%						
KPI	84	鉄道利用者数の減少抑制	当該年度の鉄道利用者数。市内各駅乗車人員数の減少を抑制する(年1.5%以内)。	目標値(単年)	万人	-	-	-	378	373	367	361	355	② 概ね 順調	人口減少やモータリゼーションの進展等の影響で公共交通事業の縮小が進んでいる。鉄道の減便や廃止は、住民生活や地域経済に大きな影響を及ぼすことから、引き続き沿線自治体や関係機関等と連携し、鉄道の維持・充実に向けた利用促進に取り組む。	交通政策課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	万人	384	373	294	291	295	308						
				達成率	%	-	-	-	77.0%	79.1%	83.9%						
KPI	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	鳥取砂丘コナン空港「鳥取-東京便」の当該年度の有償搭乗者数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	38.8	39.6	40.4	41.3	42.0	② 概ね 順調	鳥取-羽田便の5便が令和6年度まで維持されることが決定したものの、令和7年度以降の継続は不透明な状況である。引き続き関係機関と連携し更なる利用促進に取り組み、5便の定期便化を目指す。	交通政策課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	万人	38.0	38.8	9.2	13.3	28.5	37.4						
				達成率	%	-	-	-	34.3%	72.0%	92.6%						

【重点施策】地域情報化の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	86	超高速インターネットサービス世帯充足率	当該年度末の通信速度が1 Gbps以上のインターネット接続サービスの利用可能世帯の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	91.0	100.0	100.0	100.0	100.0	① 順調	超高速インターネット接続環境が未提供だった地域においては、光ファイバー網の整備を実施、令和4年度からサービス提供を開始しており、他事業者による整備エリアにおいても、CATV施設の老朽化及び高速化に対応するためのFTTH化を実施し、市民サービスの充足を図った。 今後は、CATV既加入者宅に対する光ファイバーケーブルへの切替修繕及び既存HFC設備の撤去を実施し、超高速情報通信網への完全移行を目指す。	デジタル戦略課	① 計画 どおり
				実績値(単年)	%	-	91.0	91.0	100.0	100.0	100.0						
				達成率	%	-	-	-	109.9%	100.0%	100.0%						
KPI	87	公共Wi-Fiの拠点数	当該年度末の公共Wi-Fiが利用できる拠点(公共施設、避難所)の数。	目標値(単年)	件	-	-	-	72	77	82	91	100	① 順調	令和5年度は、市有施設における指定避難所を優先的に公共Wi-Fiの整備を行った(14拠点)が、整備済の一部施設の廃止により、設置拠点は12拠点の増となった。今後は、公共Wi-Fiの優先的な整備が求められる指定避難所への整備を進め、公共Wi-Fiの充足を図る。	デジタル戦略課	① 計画 どおり
				実績値(単年)	件	-	72	71	71	75	87						
				達成率	%	-	-	-	98.6%	97.4%	106.1%						
KPI	88	とっとり電子申請サービスの利用件数	当該年度におけるとっとり電子申請サービスの利用件数。	目標値(単年)	件	-	-	-	-	-	17100	18000	18900	① 順調	令和5年度は令和4年度と比較して減少しているが、鳥取市保健所で行っていた新型コロナウイルス感染症対応業務に関するものを除いた件数は、令和4年度は23,622件、令和5年度は31,584件であり、年々増加している。 今後は、電子申請が可能な業務の掘り起こしや、QRコードの掲載や見やすいレイアウトの検討など、より利用しやすい環境を構築し、利用者の増加を図る。	デジタル戦略課	① 計画 どおり
				実績値(単年)	件	688	2385	9925	16335	53051	37700						
				達成率	%	-	-	-	-	-	220.5%						

【基本目標Ⅲ－3】健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	89	健康寿命(65歳以上の平均自立期間)(女性)	当該年度の日常生活動作が自立している(要介護度2未満)期間の平均。	目標値(単年)	年	-	-	-	20.86	20.91	20.96	21.01	21.06	① 順調	高齢者寿命の延びに伴って健康寿命も自然に延伸傾向で、令和5年度は21.33年となった。 介護が必要になる前的高齢者を想定した、介護予防・健康の維持増進につながる取り組みを実施しているが、まだまだ限定的なものであるため、実施体制を拡充すると共に地域の中で住民自身が自発的・継続的に取り組める仕掛けを検討していく。 ※計画策定時数値は平成29年度のもので、令和5年度実績は令和3年度の数値を報告。	長寿社会課	① 計画どおり
				実績値(単年)	年	-	20.76	21.07	21.03	21.74	21.33						
				達成率	%	-	-	-	100.8%	104.0%	101.8%						
数値目標	90	健康寿命(65歳以上の平均自立期間)(男性)	当該年度の日常生活動作が自立している(要介護度2未満)期間の平均。	目標値(単年)	年	-	-	-	17.71	17.79	17.87	17.95	18.03	① 順調	高齢者寿命の延びに伴って健康寿命も自然に延伸傾向で、令和5年度は18.10年となった。 介護が必要になる前の高齢者を想定した、介護予防・健康の維持増進につながる取り組みを実施しているが、まだまだ限定的なものであるため、実施体制を拡充すると共に地域の中で住民自身が自発的・継続的に取り組める仕掛けを検討していく。 ※計画策定時数値は平成29年度のもので、令和5年度実績は令和3年度の数値を報告。	長寿社会課	① 計画どおり
				実績値(単年)	年	-	17.55	17.63	17.57	18.06	18.10						
				達成率	%	-	-	-	99.2%	101.5%	101.3%						

【重点施策】スポーツ・レクリエーションの振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	91	市民体育祭の延べ参加地区数	当該年度の市民体育祭に参加した延べ地区数。	目標値(単年)	地区	-	-	-	460	470	480	490	500	③ やや遅延	新型コロナウイルスの影響により参加校区数が大きく減少したが、令和5年度はコロナ禍前の8割近くまで回復した。市民ニーズに呼応した競技を開催するなど、より多くの校区・市民が参画できる大会を開催し、市民にスポーツを行う機会を提供するとともに地域活性化を図っていく。	生涯学習・スポーツ課	③ 目標をやや下回る
				実績値(単年)	地区	-	452	大会中止	141	244	350						
				達成率	%	-	-	-	30.7%	51.9%	72.9%						
KPI	92	こころのプロジェクト「夢の教室」実施校数	功績を残したアスリートを招いた出前授業(小学校5年生、中学校2年生対象)の当該年度の実施校数。	目標値(単年)	校	-	-	-	16	16	18	18	20	③ やや遅延	令和5年度は、オンラインから対面授業形式に戻り、実施校数は13校となった。より多くの学校で実施できるよう調整に努め、バランスよく開催し、学校で学ぶことができない貴重な体験をすることで、夢を持つことや仲間と協力することの大切さ等を学ぶ機会を創出する。	生涯学習・スポーツ課	③ 目標をやや下回る
				実績値(単年)	校	-	14	10	12	11	13						
				達成率	%	-	-	-	75.0%	68.8%	72.2%						
KPI	93	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	学校施設開放による小中学校体育館等の当該年度の延べ一般利用者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	① 順調	スマート予約システムへの団体登録の増加に伴い学校施設利用者は増加している。 同一団体による長時間の予約や、週の定期予約数の制限を行うなど、より多くの団体に利用いただきスポーツの振興を図っていく。	生涯学習・スポーツ課	① 計画どおり
				実績値(単年)	人	-	344,804	279,704	442,432	438,624	667,472						
				達成率	%	-	-	-	126.4%	125.3%	190.7%						

【重点施策】健康づくり・疾病予防・介護予防の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	内部評価 （総合計画 委員）
														評価	評価コメント （課題・今後の方向性等）		
KPI	94	地域等での健康教育・相談の延べ参加者数	保健師・栄養士等の専門職が地域で実施する健康づくり等の知識の普及啓発活動への当該年度の延べ参加者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	9,480	9,485	9,490	9,495	9,500	② 概ね 順調	新型コロナウイルスの流行により過去3年ほど地域等での教育・相談の場が限られていたが、5類移行に伴い地域でのイベントや集いの場も再開され、コロナ前のような啓発を再開出来つつある。 今後も地域において、日頃からの生活習慣病予防や健康づくりの意識を醸成するための啓発活動が必要である。	健康づくり推進課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	人	-	9,205	4,982	4,686	7,497	9,264						
				達成率	%	-	-	-	49.4%	79.0%	97.6%						
KPI	95	特定健診の受診率	当該年度の鳥取市国保加入者（40～74歳）の特定健診受診率。	目標値(単年)	%	-	-	-	50.0	55.0	60.0	60.0	60.0	④ 遅延	近年、特定健診受診率、特定保健指導実施率ともに横ばい状況にあるため、医療機関等と連携を図りながら啓発活動を行うとともに、無関心層に対しても訪問などによる丁寧な受診勧奨を行う。	健康づくり推進課	④ 目標を大きく下回る
				実績値(単年)	%	-	33.5	32.4	32.9	33.9	34.2						
				達成率	%	-	-	-	65.8%	61.6%	57.0%						
KPI	96	がん検診の受診率	当該年度各がん検診受診率の平均値（目標値50%は国の69歳以下受診率の目標）。	目標値(単年)	%	-	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0以上	② 概ね 順調	働き盛り世代の受診率が伸び悩んでいる状況にあるため、企業等と連携した啓発活動や効果的な個別勧奨通知による啓発を行う。また、WEB予約を全市域に拡充するなど受診しやすい体制を整備する。	健康づくり推進課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	%	-	45.6	41.3	40.8	47.9	45.8						
				達成率	%	-	-	-	81.6%	95.8%	91.6%						
KPI	97	介護事業所や地域の集いの場へのリハビリ専門職の派遣	当該年度の介護事業所等職員への助言及び地域住民への介護予防啓発のためリハビリ専門職員を派遣した回数。	目標値(単年)	回	-	-	-	160	162	166	168	170	① 順調	地域の介護福祉職等専門職のケアマネジメント向上のため、より多くのリハビリテーション専門職等の知見が活かされる機会を設ける必要がある。 令和3年度は、直営の中央包括支援センターにて試験的に参加者数を最小限にした地域ケア会議を隔週で開催し、リハビリテーション専門職を派遣したため、一時的に派遣回数が増加した。 今後も地域の福祉専門職のレベル向上のため、リハビリテーション専門職の派遣事業の周知及び利用を促進していく。	長寿社会課	① 計画どおり
				実績値(単年)	回	-	155	168	273	231	207						
				達成率	%	-	-	-	170.6%	142.6%	124.7%						
KPI	98	集いの場の箇所数	高齢者が地域の身近な場所で介護予防活動に参加できる「集いの場」の当該年度末の箇所数。	目標値(単年)	ヶ所	-	-	-	439	474	509	544	578	③ やや 遅延	ふれあい・いきいきサロン事業では、サロン代表や生活支援に取り組む地域福祉関係者の高齢化に伴う担い手不足が地域課題として挙がっており、地域における支え合いの仕組みづくりや担い手の育成及び発掘のため、地域支え合い推進員を中心に、引き続き福祉学習等による仕掛けやきっかけ作りを推進していく。	長寿社会課	③ 目標をやや下回る
				実績値(単年)	ヶ所	-	404	392	389	385	379						
				達成率	%	-	-	-	88.6%	81.2%	74.5%						
KPI	99	シルバー人材センター登録会員数	当該年度末の公益財団法人鳥取市シルバー人材センターの登録会員数。	目標値(単年)	人	-	-	-	700	721	742	763	784	② 概ね 順調	コロナ禍で落ち込んだ会員数は、3年連続で増加した。令和5年度からは、毎月2回の入会説明会に加え、随時に説明会を受けられるよう体制を整え、入会機会の拡大に努めた。 今後も鳥取市シルバー人材センターの運営を支援し、高齢者の豊かな生活の確保や生きがいづくりに取り組んでいく。	経済・雇用戦略課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	人	-	742	699	703	717	734						
				達成率	%	-	-	-	100.4%	99.4%	98.9%						

【基本目標Ⅲ-4】誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	内部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	100	地域活動に参加したことがある市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「過去1年間に地域活動に参加したことがある」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	75.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。引き続き、地域活動や地域共生の推進に向け、市報やホームページなどでの啓発活動に取り組んでいく。	協働推進課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	71.5	-	-	-	-						
				達成率	%	-	-	-	-	-	-						
数値目標	101	福祉ボランティア活動に参加した市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「過去1年に福祉ボランティア活動に参加した」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	8.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。今後も地域共生社会の実現に向けて、地域福祉を推進する施策を継続して実施していく。	地域福祉課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	7.2	-	-	-	-						
				達成率	%	-	-	-	-	-	-						
数値目標	102	高齢者福祉関係の市民満足度指数の平均値	当該年度実施の市民アンケート調査において、住みやすさに関する満足度指数のうち高齢者福祉3項目の指数の平均値(最大5P)	目標値(単年)	P	-	-	-	-	-	-	3.00	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。政策に掲げる「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり」を目指し、地域共生社会の実現や地域包括ケアシステムの深化・推進を目標に、第9期(令和6~8年度の計画期間)介護保険事業計画・高齢者福祉計画を策定し、各高齢者福祉事業の取り組みを進めていく。	長寿社会課	評価対象外
				実績値(単年)	P	-	2.97	-	-	-	-						
				達成率	%	-	-	-	-	-	-						
数値目標	103	国際的な交流の機会・場所に対する重要度	当該年度実施の市民アンケート調査において、重要度が「高い」または「やや高い」と回答をした市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、留学生など外国人住民が増加傾向であることを踏まえ、多様な人材の受け入れに向けて、外国人を含めたすべての住民にとって暮らしやすいまちづくりを実現する必要がある。引き続き、関係団体や外国人支援団体などと連携しつつ、やさしい日本語・多言語による情報提供の充実や、各種講座・交流イベントの開催による相互理解の推進に取り組むことにより、多文化共生のまちづくりの推進を図る。	文化交流課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	42.9	-	-	-	-						
				達成率	%	-	-	-	-	-	-						
数値目標	104	自主防災活動助成件数	自主防災会が実施する防災訓練への当該年度の活動助成件数。	目標値(単年)	件	-	-	-	569	577	584	592	600	② 概ね順調	各町内自主防災会連絡協議会が防災訓練等を実施するために必要な経費及びこれらに類する経費を補助した。令和5年度は台風第7号災害等を受け、地域の防災意識が高まり、地域住民による主体的な防災活動が促進され、地域防災力の向上を図ることができた。全国的に災害が度重なる昨今、防災リーダー等を中心とした住民による主体的な避難所運営のための訓練支援など、地域の更なる防災力を強化していく。	危機管理課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	件	-	553	388	408	424	491						
				達成率	%	-	-	-	71.7%	73.5%	84.1%						

【重点施策】協働のまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	R3～7年度の地区公民館などにおいて大学生が企画・運営するまちづくり事業の実施件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	4	4	4	4	4	① 順調	各地区公民館に対して働きかけを行った結果、若者が関わる地区数が目標値を達成した。引き続き鳥取大学や鳥取環境大学及び地区公民館と連携を行い、若者の発想や企画力を生かした地域の活性化を図る。	協働推進課	① 計画どおり
				実績値(累計)				4	8	12	16	20					
				実績値(単年)	件	-	3	3	6	6	5						
				実績値(累計)				6	12	17							
				達成率	%	-	-	-	150.0%	150.0%	141.7%						
KPI	106	地域活動の支援	町内会が実施する地域活動への当該年度の支援(補助金交付)件数。	目標値	町内会	-	-	-	250	250	350	450	510	② 概ね順調	新型コロナウイルスが感染法上の5類移行で行動制限がなくなり、町内会での地域活動を再開するところが増えた。引き続き町内会が行う地域活動に必要な支援を行い、地域の活性化を図る。	協働推進課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	町内会	-	501	153	152	168	298						
				達成率	%	-	-	-	60.8%	67.2%	85.1%						

【重点施策】地域福祉のまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	107	地域食堂の設置校区数	「地域食堂」が設置されている中学校区及び義務教育学校区の当該年度末の数。	目標値(単年)	校区	-	-	-	11	13	15	16	17	① 順調	地域食堂が設置されている中学校区及び義務教育学校区の数、令和元年度以降、年々増加しており、近年の達成率は100%以上で推移している。 地域食堂の設置校区数が増加したことにより、子どもを中心に地域の多様な人が集う居場所の安定的かつ継続的な確保に繋がったものと考えている。 今後も、支援団体のさらなる拡充や、地域食堂が未設置の校区へ積極的に関わり、立ち上げに向けた支援を行っていく。	人権推進課	① 計画どおり
				実績値(単年)	校区	-	9	11	11	14	16						
				達成率	%	-	-	-	100.0%	107.7%	106.7%						
KPI	108	共生型サービスの実施事業者数	介護保険と障害福祉のサービスを同一事業所で提供を受けられる「共生型サービス」の当該年度末の実施事業者数。	目標値(単年)	事業者	-	-	-	7	8	8	9	10	③ やや遅延	共生型サービスの事業者は利用者の減少などにより事業廃止となった事業者があるなど減少傾向にある。 引き続き、事業者の集団指導等を通して事業の周知を図るとともに、アンケート調査の実施など事業者の意識を把握し、事業者の増加につながるよう努めていく。	地域福祉課指導監査室	③ 目標をやや下回る
				実績値(単年)	事業者	-	7	7	6	6	5						
				達成率	%	-	-	-	85.7%	75.0%	62.5%						

【重点施策】超高齢化社会に向けたまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	内部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	109	医療・介護事業者の連携達成度指数の平均値	医療・介護事業者へのアンケート調査(当該年度の3月31日現在)において、医療・介護連携に関する達成度指数の平均値(最大5P)。	目標値(単年)	P	-	-	-	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	② 概ね 順調	コロナ感染対策のため制限されていた医療・介護従事者等に対する対面での協議や研修の実施、気軽に集まり各職種間で話ができる場をつくるなど、多職種連携を推進していく。	長寿社会課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	P	-	3.0	3.1	3.1	3.0	3.0						
				達成率	%	-	-	-	100.0%	96.8%	93.8%						
KPI	110	地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口	該年度末の地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口。	目標値(単年)	人	-	-	-	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	① 達成	地域密着型地域包括支援センターを10箇所、基幹型地域包括支援センターを1箇所設置し、地域密着型地域包括支援センターの運営委託が全て完了した。今後は、基幹型センターの地域密着型センターへの指導、後方支援機能の体制強化等、地域密着型センターが各担当地域で地域づくりの核となるよう取り組みを進めていく。	長寿社会課	① 計画 どおり
				実績値(単年)	人	-	10,881	7,857	5,546	5,551	5,582						
				達成率	%	-	-	-	達成	達成	達成						
KPI	111	認知症サポーター養成講座受講者数(延べ人数)	認知症サポーター養成講座の当該年度末の延べ受講者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,323	21,323	22,323	23,221	24,119	② 概ね 順調	超高齢化社会に向けて、認知症の方を地域で支えていくことができるよう、既存のチラシに加え、学校向けのチラシの作成を行い、認知症サポーター養成講座受講増加に向けた啓発を行う。また、認知症サポーター養成講座の講師を担う認知症キャラバン・メイトに対し支援を行っていく。	長寿社会課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	人	-	18,323	18,540	18,860	19,153	19,624						
				達成率	%	-	-	-	92.8%	89.8%	87.9%						
KPI	112	地域の各種団体等関係者で話し合う場の設置数	地域の各種団体等関係者が話し合いを行う場の当該年度末の設置数。	目標値(単年)	ヶ所	-	-	-	9	10	15	16	17	③ やや 遅延	地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)の配置により、協議体の設置による個別ケースや地域課題を中心に話し合いを行った。また、未設置地域で地域包括ケアシステムの推進等の説明意見交換を行った。引き続き、他機関協働によるアプローチを行う。	長寿社会課	③ 目標をや や下回る
				実績値(単年)	ヶ所	-	7	3	5	14	11						
				達成率	%	-	-	-	55.6%	140.0%	73.3%						
KPI	113	市民後見人候補者名簿登録人数	成年後見人等としての活動を希望し、市民後見人候補者名簿に登録した当該年度末の市民の人数。	目標値(単年)	人	-	-	-	9	11	12	13	14	① 順調	市民後見人養成講座の内容等を見直し、登録してもらいやすい手順に変更し、名簿登録者増加となった。今後も市民後見人にあつた養成講座内容の検討や、市民後見人への支援体制を強化し、市民後見人候補者増加に向けた取り組みを進めていく。	長寿社会課	① 計画 どおり
				実績値(単年)	人	-	7	7	10	12	30						
				達成率	%	-	-	-	111.1%	109.1%	250.0%						
KPI	114	介護保険施設職員の平均充足度	市アンケート調査(当該年度の3月31日現在)の市内の特養、老健、介護医療院及び地域密着型特養の職員の募集人数に対する採用人数の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	83.7	85.3	86.8	88.4	90.0	② 概ね 順調	生産年齢人口が減少していき、介護人材不足が全国的に課題となる中、本市でも介護の担い手不足を解消することは重要な課題となっている。今後も介護事業者等の声を聞き、企業立地・支援課等庁内連携も行いながら、外国人材の活用なども含め、介護人材の確保に向け取り組んでいく。	長寿社会課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	%	-	80.6	80.2	81.2	67.9	86.0						
				達成率	%	-	-	-	97.0%	79.6%	99.1%						

【重点施策】多文化共生のまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	115	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数	地域や学校等で実施する国際理解講座への当該年度の交流員の派遣回数。	目標値(単年)	回	-	-	-	80	80	90	90	90	② 概ね 順調	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを踏まえ、改めて国際交流員派遣事業の周知を図る必要がある。 引き続き、小・中学校をはじめ、企業や団体など、幅広く事業の周知を行い、受講者数の増加につなげることで、多文化共生のまちづくりの推進を図る。	文化交流課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	回	-	83	24	41	65	73						
				達成率	%	-	-	-	51.3%	81.3%	81.1%						

【重点施策】地域防災力の向上

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	116	防災リーダーの設置地区数	市内61地区自主防災会のうち防災リーダーが設置されている地区の当該年度末の数。	目標値(単年)	地区	-	-	-	58	59	60	61	61	① 順調	防災リーダーの登録は、各地区への登録の呼びかけにより61地区中60地区と向上した。 今後も、残る1地区に対して防災リーダーの設置を働きかけるとともに、防災リーダー登録者を対象としたフォローアップ研修を継続し、レベルアップを図る。	危機管理課	① 計画 どおり
				実績値(単年)	地区	-	57	57	56	56	60						
				達成率	%	-	-	-	96.6%	94.9%	100.0%						
KPI	117	浸水が想定される区域内の雨水排水施設整備面積	内水氾濫による浸水被害を軽減するための対策工事の整備面積。	目標値(単年)	ha	-	-	-	2,151	2,167	2,169	2,171	2,174	② 概ね 順調	浸水被害発生区域の雨水排水施設整備は概ね順調であり、指標実績値は目標を概ね達成した。今後も継続して整備を進める。 また、雨水計画区域全域について、内水浸水想定区域図を作成し、防災意識の向上を図る。	下水道企画課	② ほぼ計画 どおり
				実績値(単年)	ha	-	2,133	2,161	2,164	2,165	2,167						
				達成率	%	-	-	-	100.6%	99.9%	99.9%						

4. 外部評価ご意見等への回答

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
1	ひとづくり	1	鳥取市の合計特殊出生率	<p>R3、R4とも概ね目標達成であるが、県平均よりは下回っています。また、R5はかなり下がりましたが、これはコロナの影響でしょうか。それにしても全国の減少率（厚生労働省の速報値）より大きいことが気になります。</p> <p>もう少し原因、背景を分析する必要があるように感じます。県内では増加させている自治体もあります。</p> <p>なお、個人的意見としては余り出生率に拘らず、人口減少社会に向き合っ受け入れていく政策にもっとシフトすべきと考えています。</p>	<p>合計特殊出生率低下の社会経済要因の一つに未婚率の上昇が挙げられますが、コロナ禍において、本市の婚姻件数が減少したこと、また、感染リスクへの不安から出産を控える傾向にあったことが出生数を押し下げ、そのことが合計特殊出生率の低下につながったと考えられます。</p> <p>出生率の低下には「経済的・生活基盤の弱さ」「仕事と家庭の両立の困難さ」も影響していると考えます。今後も人口減少は続くと思われ、子どもを安心して産み育てられる環境の整備をさらに充実させるとともに、UJターン施策を強化し若者に選ばれるまちづくりを進めることで自然減対策と社会減対策の両面から、総合的に取り組みを進めてまいります。</p>	企画推進部	地方創生推進室
2	ひとづくり	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	<p>婚活アドバイザーのアドバイスが鳥取市の状況に合ったもので、真に有効であるかどうかの検討も必要ではないでしょうか。</p>	<p>本事業の婚活アドバイザーは、地方に在住しながら全国各地でコーディネート講座の実施や婚活イベントのプロデュースなどに携わられています。また、今年5月には鳥取県が鳥取砂丘で主催した婚活イベントの司会進行・コーディネーターを務められ、参加者100名中29組のカップルを成立させるなど、地方を取り巻く婚活状況についての理解は深いと考えております。</p> <p>しかしながら、ご意見をいただきましたように、アドバイスをそのまま取り入れるのではなく、本市周辺を取り巻く婚活状況を踏まえ、より効果的な取り組みとなるよう、引き続き、事業の企画運営を進めてまいります。</p>	企画推進部	政策企画課
3	ひとづくり	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	<p>なぜ成婚率が低かったのかを分析してほしい。</p>	<p>令和5年は、国全体の婚姻数が前年比6.0%減、鳥取県の婚姻数が前年比8.6%減と、いずれも減少しています。同様に、麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数も減少しており、これは、令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人との交流に制限があったことや出会いから交際、その後の成婚にいたるまでには一定の期間を要することが影響し、令和5年度の成婚率が低下しているものと考えております。（なお、本事業においては、交際成立から成婚するまでに平均して約1年2ヶ月程度の時間を要しております。）</p> <p>婚活を取り巻く様々な社会情勢を踏まえながら、引き続き、フォローアップの充実を図り、出会いから交際、さらには成婚につなげられるよう、麒麟のまち圏域の各町とも連携して取り組んでまいります。</p>	企画推進部	政策企画課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
4	ひとづくり	7	保育園の待機児童数(4月1日現在)	兄弟姉妹の同園入園が難しいと聞くので、数字上だけで解決とは言えないと思う。	既にきょうだいが在園の場合や、きょうだい同時で同園に入所申込みをされた場合などは、希望に沿えるよう配慮しています。そのうえで、同園が難しい場合などは保護者と相談のうえ入所園を決定するなどしております。	健康こども部こども家庭局	幼児保育課
5	ひとづくり	8	保育園の待機児童数(10月1日現在)	減少しており、その点を評価すべきと考えます。(気持ち的には②と③の間) なお、年度途中で待機児童が生じる要因は、主に育児休業の終了により保育を希望することからと思われませんが、このようなニーズにどうように対応しておられるのか気になるところです。	毎月各保育園等の空き状況を広報し情報提供を行うなど、待機期間が少しでも短くなるよう努めているほか、年度中途の入所に対応できる体制を確保するため、保育士の人件費に対し補助を行い、乳児保育の配置支援を行っています。	健康こども部こども家庭局	幼児保育課
6	ひとづくり	9	ファミリー・サポート・センターの提供会員及び両方会員数	制度を知っていても事前登録をしていないといざというときに使えないのは難易度が高い。	本制度は育児援助を受けたい依頼会員と行いたい提供会員、相互の支えあいで行っているものであり、入会手続きのうえ、利用の際は提供及び依頼会員、センター職員で事前打合せを行っています。いざというとき安心安全に預かるために会員登録をお願いしております。	健康こども部こども家庭局	幼児保育課
7	ひとづくり	14	生涯学習講座の参加者の満足度	どのくらいの規模のアンケートでしょうか。	生涯学習講座の尚徳大学および技能教養コースの参加者554名中、397名の方からアンケートにご回答いただきました(回収率72%)。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
8	ひとづくり	17	学校が楽しいと思う児童生徒の割合(小学校)	たとえ回答が99%だとしても1%もしくは1人がいじめなどで苦しんでいたら意味がない。逆に11.8%の生徒のケアが必要。	本市では、児童生徒の状況や困り感などをしっかり把握し、適切に対応できるよう各学校で組織的に取り組んでいます。また、学校のみならず、市が設置しているサポートルーム等への通所など、個に応じた学びの場も提供しているところです。 引き続き、一人一人の教育的ニーズに対応した教育を基盤とし、「魅力と徹底による学力向上」、「豊かななかかわりによる自己有用感の育成」を柱に、すべての児童生徒が安心して楽しく学校生活を送ったり、学びを深めたりすることができるよう取組を進めてまいります。	教育委員会事務局	学校教育課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
9	ひとづくり	18	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（中学校）	たとえ回答が99%だとしても1%もしくは1人がいじめなどで苦しんでいたら意味がない。逆に10.6%の生徒のケアが必要。	本市では、児童生徒の状況や困り感などをしっかり把握し、適切に対応できるよう各学校で組織的に取り組んでいます。また、学校のみならず、市が設置しているサポートルーム等への通所など、個に応じた学びの場も提供しているところです。引き続き、一人一人の教育的ニーズに対応した教育を基盤とし、「魅力と徹底による学力向上」、「豊かなかかわりによる自己有用感の育成」を柱に、すべての児童生徒が安心して楽しく学校生活を送ったり、学びを深めたりすることができるよう取組を進めてまいります。	教育委員会事務局	学校教育課
10	しごとづくり	22	就業者1人あたりの市内GDP	生産性向上につながる施策を期待する。教育、人材育成への投資や就業者のモチベーションを高める施策が必要。	本市としても、労働力人口が減少していく中、地域経済が成長していくためには、生産性を向上させる必要があると考えています。そのため、従業員の人材育成に取り組む市内企業を支援する「鳥取市中小企業人材育成補助金」を令和6年度に創設しました。また、市内企業のDXと働き方改革の推進にも取り組んでいます。専門的な知識がなくてもドロップアンドドラッグといった簡単操作でアプリケーションが作成できる「ノーコード・ローコードツール」の有効性を実感できるDXセミナー、誰もが働きやすい職場環境づくりを促すセミナーを開催し、市内企業の生産性向上に向けて事業を進めているところです。	経済観光部	経済・雇用戦略課
11	しごとづくり	23	大学生県内就職率	率（%）はイメージがわからない。人数として業態別に明記ください。	鳥取大学の令和5年度末卒業生（学部卒）のうち就職内定者数は584人で、そのうち県内就職は135人です。鳥取大学の就職先の業態別は把握できておりません。次に、公立鳥取環境大学の卒業生のうち就職内定者数は235人で、そのうち県内就職は45人です。就職内定先の主な業種は、多い順で「金融・保険業」の10人、次いで「卸売業、小売業」と「公務」が各5人、「建設業」と「情報通信業」各4人、「学術研究、専門・技術サービス」と「教育、学習支援業」各3人となっています。	経済観光部	経済・雇用戦略課
12	しごとづくり	23	大学生県内就職率	県内企業の良さを伝えるには大学生に対して行うのでは遅すぎると考える。中高生に対する職場体験、企業訪問等を更に積極的に行う必要あり（高校は進学校含む）。	地元企業の良さを伝える取組として、中学生が地域で職場体験を行う「地域で学ぶ職場体験活動事業（ワクワクとっとり）」、進路選択前の高校1・2年生が、職場体験を組み合わせた探求的学習を行い、地元企業の魅力的な事業展開について深く学ぶ「地元企業早期プランニング事業」を実施しています。今後も、参加校、参加企業を増やすなど、中高生の段階から地元企業の良さを伝える取組を積極的に実施してまいります。	経済観光部	経済・雇用戦略課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
13	しごとづくり	28	市内漁獲量	外国人雇用等、担い手確保への注力が望まれる。	前年に比べ、沖合底引き網漁業が減少し、沿岸漁業が増加しています。減少の主な要因としては、沖底のスワイガニ漁にて時化の影響やサイズによる資源管理が要因と考えています。鳥取県とも連携し、新規漁業者を増やし漁獲量の維持に取り組む必要があると考えます。 外国人については既に技能実習生として沖合底引き網漁業に乗船しており、スワイガニ漁等（沖合底引き網漁業）の戦力として期待されているところです。	農林水産部	林務水産課
14	しごとづくり	28	市内漁獲量	減少傾向の十分な検証を。	前年に比べ、沖合底引き網漁業が減少し、沿岸漁業が増加しています。減少の主な要因としては、沖底のスワイガニ漁において時化の影響や、サイズによる資源管理が要因と考えられます。本市の漁業者数も減少しており、引き続き担い手の確保・育成に努め、漁獲量の維持に向けて取り組んでまいります。	農林水産部	林務水産課
15	しごとづくり	29	補助事業（所得向上メニュー）指定企業における投下固定資産額の累計	補助事業指定企業の実態がわからない。	本補助制度（所得向上メニュー）は、労働生産性向上や賃上げ促進のために、先端設備を導入する市内中小製造業者の設備投資を支援するものです。 制度を活用された事業者からは、設備投資により生産性向上や製品の高付加価値化が図られ、その収益を基に賃上げを実施したとの報告を受けているところです。 高精度な設備を導入することで製造品の品質向上にもつながり、更には幅広いニーズへの対応やリピーターの確保など安定した受注獲得にもつながるといふ制度の趣旨も踏まえつつ、より多くの事業者に活用していただけるよう、適宜、制度内容の見直しを検討してまいります。	経済観光部	企業立地・支援課
16	しごとづくり	32	市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計	日本語学校の出口（受入企業）の環境が芳しくないとの情報があるが、将来性懸念有りでは。	単に労働力確保の面だけでなく、地域の持続・発展を図るうえで、外国人材活用の必要性は今後ますます重要となると考えています。 今後は将来的な本市への定住につなげることを念頭に、市内企業に対する人材活用の働きかけを強化するとともに、地域における日本語教育機関として、就労目的以外の人を対象とした取組も検討してまいります。	経済観光部	企業立地・支援課
17	しごとづくり	33	まちづくり投融資制度（投資・融資）の活用実績額の累計	制度内容の周知方法を根本的に考え直す必要があるのでは。	本市HPへの掲載や金融機関及び商工団体などを通じた情報提供は行っているところですが、より幅広く周知が図られるよう、周知方法の見直しを検討してまいります。	経済観光部	企業立地・支援課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
18	しごとづくり	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	補助金額はどれだけか。あまり魅力的には思えない。	補助対象経費は、専門機関への委託費用・仲介手数料・アドバイザー費用のうちの成功報酬、補助金額は対象経費の1/5、限度額は100万円となっています。 これまでも対象経費などの見直しを行っていますが、今後もより多くの事業者を活用していただけるよう、適宜、制度内容の見直しを検討してまいります。	経済観光部	企業立地・支援課
19	しごとづくり	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	金融機関、関係団体との連携強化、周知強化が必要。	本市は、県内の官民関係機関で組織する「とっとり今から備える事業承継コンソーシアム」に参画し、事業承継に関する現状・課題、支援事例の情報共有や意見交換を行っているところです。 また、鳥取県事業承継引継ぎ支援センターや金融機関などの関係機関とも情報共有や意見交換を行っているところです。 今後は関係団体との連携のもと、既存制度の周知に加え、事業承継支援が必要な事業者の掘り起こしにつながる取組を検討してまいります。	経済観光部	企業立地・支援課
20	しごとづくり	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	補助金制度の周知、活用事例の紹介など広報強化が必要ではないか。	本市は、県内の官民関係機関で組織する「とっとり今から備える事業承継コンソーシアム」に参画し、事業承継に関する現状・課題、支援事例の情報共有や意見交換を行っているところです。 また、鳥取県事業承継引継ぎ支援センターや金融機関などの関係機関とも情報共有や意見交換を行っているところです。 今後は関係団体との連携のもと、既存制度の周知に加え、事業承継支援が必要な事業者の掘り起こしにつながる取組を検討してまいります。	経済観光部	企業立地・支援課
21	しごとづくり	38	鳥取市国際経済発展協議会の地元企業海外進出等に対する支援の累計件数	ロシアや中国との貿易、マッチングの状況はどうなのか。	ロシアに関連する貿易相談・サポート件数は減少傾向にあります。現状、鳥取市内地元企業とロシア企業との新規取引が難しい状況です。 中国に関しても訪中ビザ免除の停止等、訪中の壁が高くなったことなどが要因となり、貿易相談、サポート件数は減少傾向にあります。令和6年度は鳥取市と市場規模が比較的近く、ビザなしでの入国が可能な台湾や香港への販路開拓支援を主軸に市内事業者との取引開始に向けて支援を進めています。	経済観光部	経済・雇用戦略課
22	しごとづくり	40	「鳥取市ふるさと物産館」等の売上金額の累計	「非リアル」の落ち込みの原因を知りたい。	「非リアル」のチャンネルの中で、ふるさと納税の売上が大きく減少しているため「非リアル」全体の売上が落ち込みました。ふるさと納税の売上は、大山ドリの焼き鳥セット、二十世紀梨が大きく落ち込んでいます。これは、競合商品が安価に様々なサイトへ出品されたことが影響したと考えています。	経済観光部	経済・雇用戦略課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
23	しごとづくり	41	麒麟のまち関西情報発信拠点での売上金額の累計	3年前まで大阪に勤務し、同施設を利用させてもらっていたが、立地状況や人の流れを鑑みて一般客が足を運ぶような施設と品揃えではなかったように思う。情報発信と客観的な施設の魅力向上が必要では。	業務委託期間更新に合わせて、改めて施設の設置目的達成のため運営方法を見直すよう検討していきます。	経済観光部	経済・雇用戦略課
24	しごとづくり	42	市公設地方卸売市場の取扱高の累計	再整備事業への補助金（市場への）は十分ですか？	再整備事業には、国交付金（強い農業づくり総合支援交付金）を活用しています。本交付金は単年度申請ですが、令和4年度からの事業として、令和3年度に全体計画を提出した際の交付金合計要望額と同一の交付決定を令和6年度事業分まで受けており、現段階では充足している状況です。	経済観光部	経済・雇用戦略課
25	しごとづくり	43	市内の新規農業担い手数の累計	集落営農組織も世代交代にあり、そのあたりの支援が必要と考えます。	集落営農組織の構成員の高齢化が進むなか、後継者がいないこと等の理由から、なかなか世代交代が進まない現状です。組織統合やスマート農業技術の導入等による効率化や省力化に資する支援を行うとともに、後継者の育成・確保、規模拡大や新規参入を目指す農業者とのマッチングを図ってまいります。	農林水産部	農政企画課
26	しごとづくり	46	市戦略作物の出荷量	戦略作物のブランド化を図ってほしい。	ブランド化を図るためにも、後継者育成と出口戦略を考慮しながら、アスパラガスをはじめとした高収益作物の品質向上と安定生産に努めてまいります。	農林水産部	農政企画課
27	しごとづくり	50	農畜産物の販路拡大マッチング件数	どのような産品であるのか知りたい。	らっきょう、梨、柿、白ネギ、イチゴなど本市を代表する青果を中心に、加工品や地酒などの幅広いラインナップで商談会を開催しました。	農林水産部	農政企画課
28	しごとづくり	51	6次産業化取組支援件数の累計	6次産業化の事業主体は農業者のみか。	6次産業化の事業主体は、農業者だけではなく、農業法人、任意組織、JAも対象になります。また、これまで農業者及び農業法人が、事業活用されています。	農林水産部	農政企画課
29	しごとづくり	52	多面的機能支払交付金対象の農用地面積の割合	交付金の金額、総額を知りたい。農用地利用の効率化に繋がってほしい。	令和5年度は138組織に191,118,524円を交付しました。今後も本事業を活用していただけるよう施策の推進に努めてまいります。	農林水産部	農村整備課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
30	まちづくり	54	移住定住者数	目標値を大きく下回っているわけではないが、実績値が年々下がっている。移住定住専用ポータルサイトの内容は面白いだけに、あまり認知されていないのが残念。鳥取に親族がいることを契機に移住を検討する人も少なくない。対市外だけでなく、市内での認知を高めることで間接的にもアプローチしていけるといいのではないか。	ご指摘のとおり、鳥取市内にご親族がいるということで移住を検討されている方もおられますし、市内の親戚の方からの相談もあります。市内の方にに向けた情報発信の例としては、帰省時期に合わせ市報の1月号にはUターン相談窓口のご案内を掲載しております。また、今年度からは高校生を巻き込んだインスタグラムでの情報発信「とっとり・つながりインフルエンサーグランプリ」に取り組んでおり、転出前の高校生向けにも移住相談窓口の周知を行っております。	市民生活部	地域振興課
31	まちづくり	57	地域魅力度	上位を目指すのであれば、具体的にどの項目で評価されることを目指すかを市民とも共通認識を持つことが重要ではないか。	地域ブランド調査においては、地域魅力度を含め、各地域の魅力を形成する要因を説明する指標として計89項目で調査が行われています（第18回地域ブランド調査2023ハンドブック）。いずれも外から見た地域の魅力やイメージを調べる内容となっています。一方、本市シティセールス戦略においては、市民愛着度、市民サービス満足度、地域魅力度、観光入込客数、移住者数と、市民の皆さまからの評価と市外から見た本市の評価の両方を含む5つの目標を設定しています。市民愛着度、市民サービス満足度の向上に取組みシビックプライドの醸成を図り、市民の皆さまにも本市の魅力を発信していただくことが、地域魅力度、観光入込客数、移住者数の増加にもつながっていくと考えております。そのため、市民の皆さまに本市シティセールス戦略について周知するとともに、引き続きまち全体で一体となったシティセールスの推進に取り組んでまいります。	企画推進部	政策企画課
32	まちづくり	57	地域魅力度	地域ブランドとは、何をブランドと定義しているのか？何をブランドとして売りたいのかがこの内容からでは読み取ることが出来ません。 市民や、審査員に理解できる内容を記載する必要があります。	地域魅力度を調査する株式会社ブランド総合研究所によると、地域ブランドとは『地域に対する消費者からの好意的な「評価」と「期待」』であるとしています。『その「評価」と「期待」を「地域が消費者からどれだけ魅力的であると思われるのか」という設問で調査』し、魅力度としてスコアを算出しているものです。（出典：第18回地域ブランド調査2023ハンドブック） 本市シティセールス戦略においては、ブランドスローガンを「SQのあるまち」と定め、既存資源やサービスの磨き上げを図り、まち全体で一体となった「オール鳥取市」での取組により鳥取市らしさ（鳥取市ならではの魅力・価値）を全国に浸透させていくこととしています。令和5年度は、著名人とのタイアップを実施し、ミュージックビデオの全編鳥取市ロケを行い、本市の魅力を国内だけでなく全世界に発信しました。また、シティプロモーション「#鳥取家族」では、鳥取市でいきいきと暮らす鳥取市民＝「鳥取家族」のみなさんとのコラボポスターを、新宿エリアと原宿エリアに掲出し、本市の知名度向上につなげたところです。 引き続き、まち全体で一体となったシティセールスを推進することで、市内外に本市の魅力を発信・浸透させ、地域魅力度の更なる向上につなげられるよう取り組むとともに、市民や審査員の皆さまへ分かりやすい内容説明を行うよう心がけてまいります。	企画推進部	政策企画課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
33	まちづくり	58	麒麟のまち圏域の人口	何を目標・目的としているのかわからない。ただ人口の減少がなかったことだけを評価しているような内容になっている。持続可能で魅力ある圏域の形成・発展に取り組んだ内容の記載がないので、どう評価しているのかわからない。	令和5年度から開始した「第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」では、高齢化が進行する中でも、将来の圏域を担う年少人口や圏域経済の担い手となる生産年齢人口の維持を目標とし、圏域全体の持続的な発展を目指すため、現在、84の連携事業に取り組んでいます。 令和5年度の具体的な取組のひとつとして、圏域全体のエリアプロモーション事業では、SDGsの視点を踏まえた麒麟のまち圏域の魅力発見と発信を行うキャンペーンを実施し、イラスト、写真、川柳の3部門で合計641点の応募作品があり、入選作品については、圏域1市6町で巡回展示を行いました。一連のキャンペーンをとおり、圏域内の周遊促進を図るとともに、SDGsの普及啓発を行うことで、圏域の持続可能なまちづくりの推進に努めたところです。 引き続き、麒麟のまち圏域自治体でしっかりと連携し、持続可能で魅力ある圏域の形成・発展に向け施策を推進してまいります。	企画推進部	政策企画課
34	まちづくり	59	移住相談登録者数	先述したことも重なるが、ポータルサイトでの情報発信と合わせて、ポータルサイトそのものの認知を高めていくことが急務。また、閲覧だけでなく、コンテンツに関わる人を増やし巻き込むなどし、主体的なサポーターを増やしていくことも重要。移住を検討する可能性のある人の親族など、周りの認知を高めて間接的にアプローチしていくことも効果があるのではないかと。	移住定住ポータルサイト「とっとりコネクト」には先輩移住者のインタビューを掲載しておりますが、まずは、このような方々に主体的なサポーターになっていただくなど、多くの市民に参画していただけるよう検討してまいります。また、市民の方の認知度も高められるよう、SNSと連携して更新の頻度を増やし、コンテンツの充実に取り組んでまいります。	市民生活部	地域振興課
35	まちづくり	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	県では4万戸超の空き家があるのに対して、目標値も実績値も低く感じる。自分も鳥取で住居を探したときに空き家バンクも見てみたが案件が少なすぎてあまり参考にならなかった。浜村で空き家バンクをしっかりと活用していこうという動きなどもある。そのようなやる気のある民間事業者の協力を募り、サポートする体制をつくりたい。また、不動産サイトが各社見せ方を工夫しているように、空き家バンクも情報を載せればいいだけでなく、物件の魅力を掘り出し伝えていく工夫が必要。	浜村で活動しておられる浜村ソーシャルクラブには令和5年度より当市の「移住定住空き家運営業務」を委託しており、空き家の調査や空き家バンクの運営、移住者とのマッチングなどをお願いしております。市内9団体に同様の業務を委託をしており、費用の補助はもちろん、意見交換会を開催して各団体の連携をはかるなど、サポート体制を構築しております。所有者の特定など空き家の活用には問題が多くありますが、このような委託団体を各地域に増やしていくとともに庁内各部署とも連携し、空き家の登録件数の増加に取り組んでまいります。また、移住ポータルサイト「とっとりコネクト」に掲載される物件の写真や文面を工夫するなど、各空き家物件の魅力が伝わるような情報発信にも取り組んでまいります。	市民生活部	地域振興課
36	まちづくり	61	魅力ある民泊に向けた取組団体数	佐治が行っている農家民泊などのPRや民泊に取り組むうえでの法的なことなど周知してほしい。	鳥取市HP上で、中山間地域民泊推進事業補助金の周知を図っているところですが、同ページ内に佐治で民泊を実施している団体のHPリンクと、生活環境課が掲載している民泊についてのHPリンクを貼るなど、市内の取組と併せて民泊に取り組むうえでの法的なことについても周知を行います。	市民生活部	地域振興課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
37	まちづくり	61	魅力ある民泊に向けた取組団体数	何が問題で進みが悪いのかを確認し、その課題を解決する方法を探る必要がある。	<p>新型コロナウイルスの影響もありましたが、民泊を考えている事業者等への補助制度の周知が浸透していなかったことが、伸び悩んだ原因と考えます。</p> <p>民泊に盛んに取り組まれている、河原・佐治・青谷地域を中心に、その他の地域においても総合支所と連携し、事業周知を図り、民泊事業の拡大を図ってまいります。</p>	市民生活部	地域振興課
38	まちづくり	64	外国人宿泊者数	アフターコロナの状況下での目標値の設定であったのではないかと思う。目標値と実際の状況に解離する点はない中であたかも、コロナが原因で目標値に達成しなかったことを理由にすべきではない。なぜ目標値に達成しなかったのか、しっかりと分析し、次年度以降への課題とすべき。	<p>令和5年1年間に日本全体を訪れた訪日外国人客数は、JNTO（日本政府観光局）の公表数値によると2,506万人で、コロナ前の2019年の約8割まで回復している状況です。また、日本の中でも東京や大阪、京都など外国人観光客に人気の都市部から回復していく傾向を踏まえると、令和5年度における本市の外国人宿泊客数は都市部と遜色ない回復状況となっており、目標値には達していないもののコロナ禍に継続してきた海外プロモーション等の一定の成果が表れているものと分析しています。</p> <p>本市を宿泊先とする外国人観光客の半数以上は、中国や香港、台湾、韓国など東アジア地域の方々であることから、令和5年下半期に再開された米子空港に発着する国際定期便や、既に就航が公表されている鳥取空港への台湾からのチャーター便の利用促進とともに、同地域に対するプロモーションや受入環境の向上などに取組むことで、KPIの達成を目指していきます。</p>	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
39	まちづくり	64	外国人宿泊者数	日本固有の古くからある文化や生活様式などの、私たちが気づかないが外国人から見たら魅力を感じるものが多数あると思うので、積極的にPRしてほしい。また、観光マップはもとより、地域にあるガイドマップなどを積極的に英語、中国語、韓国語などに翻訳してほしい。	<p>本市では、東アジア市場及び欧米豪市場をターゲットとしたプロモーション展開の一環として海外で影響力のあるインフルエンサーを招いて、本市特有の文化、観光の魅力を体験し、SNS等を通じた情報発信をいただくFAMツアーを実施しています。このツアーでは、鳥取の魅力に直接触れていただくことから外国人観光客目線での新たな魅力の発掘に繋がっているところです。</p> <p>また、令和6年度中に本市の総合観光パンフレットである「鳥取旅時間」の繁体字版とフランス語版の作成、白兔周辺を紹介するパンフレットの繁体字版の作成、本市を含む麒麟のまち観光圏域の魅力を集約した英字版の総合パンフレットを作成する予定としており、回復が顕著なインバウンド需要への対応に備えているところです。</p> <p>今後も様々な手段を通じた積極的なPRに努めていく考えです。</p>	経済観光部	観光・ジオパーク推進課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
40	まちづくり	—	(麒麟のまち圏域観光拡大に関するご意見)	<p>麒麟のまち圏域の観光魅力度・交流圏域の拡大山陰近畿自動車道の整備が進行中、現時点でも所要時間は短縮され、すでに鳥取-宮津(天橋立)間は鳥取-松江間に匹敵する位置関係(120km、2時間20分)に入っており、旧来のイメージを超えた近接圏域となりつつある。</p> <p>因幡~丹後圏域は、従前から観光を含め交流人口はそう多くはなかったが、山陰近畿道全通を見据えた観光・地域連携につき検討すべきと思われる。丹後地域自体の人口規模は大きくはないが(京丹後市・宮津市他8万人)、周辺地域(東の舞鶴・南の福知山)を加えれば24万人程度にもなり、因幡・丹後周辺に中間の但馬を加えれば60万人超の規模となる。各圏域ともに従来から京阪神地域との深い人的・経済的・観光交流実績があるが、それらを踏まえたうえで、新たな複合的交流・連携の可能性を探ってみる意味がある。</p> <p>鳥取市(用瀬町)・麒麟圏域(若桜町・八頭町)と宮津市は、重用区間を含みながらも「国道482号線一本でつながっている」知られざる奇縁も活用の余地があります。</p>	<p>山陰近畿自動車道は、鳥取市から兵庫県豊岡市を經由し、京都府宮津市に至る高速道路で、山陰海岸国立公園や山陰海岸ジオパークエリアを通過しており、沿線自治体には本市の鳥取砂丘をはじめ、浦富海岸や湯村温泉、余部橋梁や玄武洞、城崎温泉、天橋立など魅力的な観光地が多数点在しています。広域連携DMOである(一社)麒麟のまち観光局では同エリア内のDMO組織と連携したインバウンド向けの周遊ルート造成をするなど、将来を見据えた取り組みを始めているところです。今後も、交通の利便性の向上なども見据えながら広域観光の振興や新たな複合的交流・連携の可能性を含めて検討してまいりたいと考えます。</p>	企画推進部	政策企画課
41	まちづくり	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	<p>既存団体の継続/発展のためには、若い世代を巻き込んでいきたい。市として、幼保小中高などへの接点をつくるサポートなどができれば。</p>	<p>現在、子どもたちに芸術的な感性の素質育成を図るとともに、文化芸術による自己表現の楽しさを伝える取組として、地域の文化芸術活動者を小学校に派遣する「芸術の出前講座」をはじめ、鳥取市芸術家バンクの登録芸術家を小中学校に派遣するなど、落語や日本舞踊、音楽、絵画など幅広い分野の芸術を体験する機会を提供しています。また、0歳児からのコンサートの開催など、幼少期から芸術に触れるための次世代育成の事業にも力を入れています。引き続き、文化団体等と連携し、文化芸術を活用した次世代育成の取組を実施し、文化振興によるまちづくりを推進していきます。</p>	企画推進部	文化交流課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
42	まちづくり	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	「麒麟のまち観光局」の姿、様子がよくわかりません。「このへん共和国」も同様に何をされているのかよくわかりません。1市6町が連携した取り組みがもっと市民にわかるように頑張ってください。また、1市6町の住民が交流する機会を増やしてほしい。	<p>(観光・ジオパーク推進課)</p> <p>麒麟のまち観光局は観光を通じて地域が稼ぐ力を引き出す仕組みづくりを行うことを目的に、観光資源の磨き上げや商品化、マーケティング、旅行業法に基づく国内旅行全般の取扱いなどを行っており、1市6町がその活動を支援しています。</p> <p>地域の稼ぐ力を高めていくためには、観光客の属性等をデータとして把握した上で、分析を行い、情報発信や観光消費の拡大に向けた取組に活かしていく必要があることから、昨年10月に圏域のファンづくりのための会員募集システム「このへん共和国」を立ち上げ、圏域の登録店舗で使用できるクーポン利用キャンペーン等を行いながら、会員の属性や動向、ニーズ等の把握を行っています。(令和5年度末現在の会員数：6,678人)</p> <p>コロナ禍を経て、観光客の動向やニーズは多様化しており、こうしたデータを分析し、情報発信や国内外からの誘客促進に活用することで、通過型から滞在型の観光地への転換を図る取組を進めているところです。</p> <p>(政策企画課)</p> <p>麒麟のまち圏域では、第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンに基づき、現在、84の連携事業に取り組んでいます。いただいたご意見をもとに、市民に分かりやすい周知方法や圏域住民の交流できる事業など、麒麟のまち圏域の各町とも連携して取り組んでまいります。</p>	経済観光部 企画推進部	観光・ジオパーク推進課 政策企画課
43	まちづくり	72	中心市街地の居住人口(社会増減数)	中心市街地の空き店舗について、施設が古い、駐車場がない、家賃が高いなど、なかなか利用しづらい状況である。	本市では、中心市街地活性化協議会や商店街などと連携し、空き店舗など遊休不動産の実態調査を行い、基本的な不動産情報や最適な利活用の方法をデータベース化する取組を進めており、このデータベース化により、借りたい人と貸したい人とのマッチング効果を高めていきたいと考えています。	都市整備部	まちなか未来創造課
44	まちづくり	72	中心市街地の居住人口(社会増減数)	進学や就職を迎えた世代の転出を抑えることは簡単ではないが、他地域でなく鳥取を選ぶのはどのようなか傾向を把握し、ターゲットを絞った施策を考えたい。また、お盆や年末年始など、市外に出た学生が多く戻ってくるタイミングと合わせてある程度規模の大きなUターン就職フェアなどを開催することで、Uターン就職を選択肢に入れ込みたい。中心市街地へのオフィス誘致は推進していきたいが、地元企業だけでなく、都市部の(給与水準の高い)企業も誘致できればなおよい。	本市は、若年層の県外流出による人口減少や、中心市街地の活力低下を踏まえ、「(仮称)まちなか再生戦略」の策定に向けて検討を進めています。 来年度以降、この戦略に基づき、県内外の企業オフィス誘致、起業・創業支援、働き方改革などの取組を中心市街地において展開していくことを想定しているところです。	経済観光部	企業立地・支援課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
45	まちづくり	77	協働による芝生化の箇所数	芝生化を希望する地域が減少傾向であるとの内容に、なぜ減少傾向なのかを確認するべきだと思う。芝生化後の維持管理に人件費等の負担がかかると聞いている。実施後のフォローは出来ているのか今後のこの事業は続いていくのか、もう少し精査する必要があると感じる。	既存の公園、公共空地进行芝生化することにより、転倒しても怪我をしにくい、裸足で遊べる心地よい公園として整備し、また、市民が直接事業に参画することにより「協働」意識の高揚を図ることを目的として芝生化事業を推進しているところです。 委員ご指摘の維持管理に係る人的負担につきましては、関係者の高齢化などにより水やりや芝刈り作業などの負担が増えていることも事実です。委員のご意見をふまえ、関係者の負担軽減、今後の事業の継続について精査、検討してまいります。	都市整備部	河川公園課
46	まちづくり	77	協働による芝生化の箇所数	公園、公共空地のみでなく、学校グラウンドなども芝生化の推進をされてはどうか。	(河川公園課) 公園、公共空地での芝生化は、概ね完了している状況のため、近年、実施箇所数が減少しております。引き続き、芝生化の魅力を発信し、芝生化の促進を図ってまいります。 (教育総務課) 本市の小・中・義務教育学校の芝生化は、平成20年度より学校、PTA、地域の方などが中心となり、現在までに17校が実施しています。実施方法としては、学校(P T A・児童含む)が中心となってポット苗を育て、植え付けを行う形を原則とし、材料代などを市が支援することとしています。	都市整備部 教育委員会事務局	河川公園課 教育総務課
47	まちづくり	79	中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	中心市街地でのイベント開催はいいが、その時にやはり無料駐車場があるともっと参加しやすいと思います。	本市では、中心市街地でのイベント実施で生じる経費に対する支援を行っており、広告等において駐車サービス券の配布を周知する場合において、来場者の駐車場代についても対象経費としているところです。	都市整備部	まちなか未来創造課
48	まちづくり	79	中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	令和5年度は前年比増となっているが、令和3年度以降伸び悩みで令和2年度水準にすら達しておらず(2割減)、長期漸減傾向が続く可能性も高い。今後の事業展開に期待したいが、イベント等に偏らず、難易度は高いがオフィス需要や路面店集積効果等経済面からのアプローチにも十分な配慮が必要ではないか。旧本庁舎跡地活用や鳥取城跡活用に当たっても、商業活動とセットの相乗効果の見込みなくしては、継続性や観光資源としての発展性も大きな期待ができないのでは。	引き続き、イベント等の支援に取り組むとともに、空き店舗等を活用した中心市街地への企業誘致にも関係課と連携して取り組むなど、経済面でのアプローチも合わせて実施することで、恒常的な人流の創出に取り組んで参ります。	都市整備部	まちなか未来創造課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
49	まちづくり	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	要件のハードルが高い。まずは副業でも関わられるような枠を設けるなど、裾野を広げるほうが先ではないか。	本制度は、伝統工芸等の技術の伝承と後継者の育成を図ることを目的としており、技術習得に要する時間を十分確保する必要があると考えていますので、現時点では要件の緩和は考えていません。なお、研修日数1月15日以外の時間は副業等も可としております。	経済観光部	経済・雇用戦略課
50	まちづくり	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	研修生を募集の前に、伝統工芸の認知向上のための活動も必要ということでしょうか。実施されていると思いますが。	伝統工芸の認知度向上の取組みとしましては、中心市街地での民藝をテーマとしたイベントへの助成や宿泊事業者等の伝統工芸品購入助成（令和5年度事業）などを行っていますが、より多くの方に目に触れられるよう取り組んで行きたいと考えます。	経済観光部	経済・雇用戦略課
51	まちづくり	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	評価コメントにあるように、参加者に次世代を担う人材が少ないと感じます。リーダー認定することが目標ではなくその方々がどのように活動を広げているか、活躍できているかをみていかなければ、この施策の意味がないと思います。	ここ数年間の状況として、高校や大学にもご協力いただき、高校生や大学生等の若者の参加も増えてきてまいりました。このような方々がこれまで育成された地域リーダーと繋がり、新たな取り組みが生まれるよう、しっかりとサポートしていきたいと考えております。	市民生活部	地域振興課
52	まちづくり	83	共助交通の導入件数	タクシーや観光バスと連携することで、サービスの充実と効率化を図る事も今後検討の余地があるのではないのでしょうか？地域の需要や時間帯に応じて、共同で運行スケジュールやルート进行调整することで、無駄な競争を避け、利用者がより便利な交通手段を選びやすくするなど。またバス料金の価格設定を見直す事も、行政に頼るばかりではなく、必要なことだと思ふ。	利用しやすい公共交通体系をめざして、効率がいい運行経路やダイヤの調整は重要であり、ご意見のとおり調整が必要と考えています。また、異なる交通手段をシームレスにつなぐ取組みやキャッシュレス化の推進など、利便性の向上によって、公共交通の利用促進を図っていきます。なお、バス運賃の見直しについては、バス事業者と協議したいと思ふいます。	都市整備部	交通政策課
53	まちづくり	83	共助交通の導入件数	共助交通に取り組みたい地域も多数あると思う。地域の取り組みへの支援のみでなく、自動運転の車を走らせるなど、市として何らかの施策対応をお願いしたい。	共助交通は、公共交通空白地における移動手段として地域主体で運行していただいております。地域の意向に沿って、引き続き導入に向けた支援を行ってまいります。また、自動運転バスの導入に向けては、現在市街地エリアでの実証実験を行っていますが、本格導入に向けては課題が山積しており、実験を重ねていく段階にあります。将来的に自動運転バスを運行する路線については、技術面やシステム運用面、利用見込み等をふまえ、バス事業者や関係者と検討していきたいと考えています。	都市整備部	交通政策課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
54	まちづくり	83	共助交通の導入件数	高まるニーズに合わせて、継続して導入されている。実績を周知していくことで今後の導入のハードルを下げつつ、運行団体同士のノウハウ共有の場などもつくりたい。	共助交通の導入を検討している地域に対しては、地域の意向に応じて、各種制度や事例を紹介するとともに、必要に応じて市職員が視察に同行する等、引き続き支援を行います。 また、運行団体で構成する「共助交通推進連絡会議」を設置しており、課題等の共有や改善に向けた意見交換を通じて、持続可能な共助交通をめざしています。	都市整備部	交通政策課
55	まちづくり	85	鳥取砂丘コナノ空港の年間有償搭乗者数	自分も特に朝一の便には助けられている。早朝に出れば、am10時頃には都心で活動ができる。逆に、夜のうちに東京から鳥取に戻ってこようとした場合、最終便でも18時迄には羽田に向かい始めなければならず、少し使い勝手が悪い。便数も大切だが、なるべく朝早くとなるべく夜遅くの便を確保することも重要。	運航ダイヤ（発着時刻）については、羽田空港滑走路の運用状況及び路線の優先順位等が関係します。ダイヤ変更については、利用者への影響をふまえ、関係機関と検討の上、航空会社へ要望してまいります。	都市整備部	交通政策課
56	まちづくり	85	鳥取砂丘コナノ空港の年間有償搭乗者数	県外からの窓口として、飛行機という手段は必須だと思う。鳥取が遠いものではなく、近い存在に感じていただき、鳥取へ滞在型観光の誘致に歯止めがかからないようにしていく必要がある。 多くの人を鳥取に呼び込むことで、鳥取の経済が活性化することは間違いないことで、そのためには鳥取に気軽に來れる交通網を維持していく事は必要だと思う。	鳥取・羽田便は、経済・観光面や交流人口の増加において重要な航路であると認識しており、引き続き、県や商工会議所、関連事業者等と連携して、5便の定期便化を目指して取り組んでまいります。	都市整備部	交通政策課
57	まちづくり	89	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（女性）	男性の変化に比べ、女性の健康寿命の低下（令和4年：21.74年→令和5年：21.33年）は有意差とも思われるが、原因の特定について記述がありませんが。	令和3年簡易生命表（厚生労働省公表）による主な年齢の平均寿命では、男性、女性とも前年と比較して下回り、女性が男性よりも下回り幅が大きくなっています。 この要因として、厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症などの死亡率の変化が、平均寿命を縮める方向に働いているとしています。このことが、健康寿命の縮小にも影響したものと考えています。	福祉部	長寿社会課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
58	まちづくり	91	市民体育祭の延べ参加地区数	<p>市民体育祭に声をかけられたことがない。普段運動をしており、声がかかれば参加したいと思っていますが、どのような声掛けをして、地域の中で誰がやっているのか、市民として見えてこない。</p> <p>毎年ルーティンで同じ人に声をかけているのであれば、すべての市民に公平な声掛けとは言えない。</p> <p>開催することも必要だが、どのような召集をしているのかも今後の課題としていただきたい。</p>	<p>市民体育祭の参加者募集については、各地区体育会が中心となつて、地域住民に周知し、取りまとめを行っています。</p> <p>毎年3月頃に市のホームページで開催の案内を掲載しているため、参加希望の方は、その時期にご確認いただき、地区体育会にご連絡いただくこととしています。今後もより公平で分かりやすい募集に向けて取り組みを進めていきたいと考えています。</p>	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
59	まちづくり	91	市民体育祭の延べ参加地区数	<p>歴史があり面白い取組なので、改めて盛り上げ方を考えていきたい。キッチンカーなどの飲食出店、地元メディア(TV,WEB)中継など、せっかくなら楽しく。ダンスなども競技に加え若年層の参加も促す。</p>	<p>本体育祭の認知度を高め、盛り上がる大会とするための方法を、ご提案いただいた内容を参考に考えていきたいと思ひます。</p> <p>また、現在一部競技を除き対象外としている小中学生の参加条件見直しや参加種目の追加などについても、各競技団体と協議を行いながら検討します。</p>	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
60	まちづくり	91	市民体育祭の延べ参加地区数	<p>チームや団体で参加も大切ですが、一人でも参加できる種目を増やしてはどうか。</p>	<p>従来から市民体育祭は小学校区対抗で得点を競い合う方式で実施しており、チーム競技や団体競技がメインとなっていますが、個人参加が可能な種目はすでに一部競技で実施しているところです。参加種目の見直しについては、大会を運営する各競技団体と協議を行ったうえで検討したいと考えます。</p>	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
61	まちづくり	92	こころのプロジェクト「夢の教室」実施校数	<p>各小学校単位でなくても、抱き合わせるなどして、積極的にやってほしい施策だと思う。全小・中学生に実施してほしい。</p>	<p>実施クラス数については予定通り進められましたが、参加校数が不足していたため、今後は複数校での実施も検討するなど、さらに広く呼びかけを行っていききたいと考えています。</p>	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
62	まちづくり	92	こころのプロジェクト「夢の教室」実施校数	<p>児童の数も減っているなので、何校かまとめた実施も検討したい。</p>	<p>複数校での対応については、移動の方法など課題もありますが、より多くの児童生徒に夢の教室の授業を受けられるよう、学校と相談しながら研究してみたいと考えます。</p>	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
63	まちづくり	92	こころのプロジェクト「夢の教室」実施校数	<p>この活動が本当に必要なのかわからない。小学生が名前も知らない中途半端なアスリートを呼んだとしても、今自時代の子供たちが憧れや、夢を抱くことは少ないと思う。</p> <p>今は情報が自由に手に入り、自分たちで気になる情報を検索できる時代だからこそ、このような事業の意味があるのか疑問を感じる。</p> <p>それよりも地元の伝統文化や歴史を教えていく事が必要ではないかと思う。</p>	<p>本事業は、スポーツや文化・芸術の各分野において日本国内や世界で活躍された著名人等を「夢先生」として迎え、「夢を持つことの素晴らしさ」や「相手を思いやる心」を子どもたちに伝えるものです。</p> <p>将来の夢や目標を持つ子どもが少ない傾向がある中、授業を通じて「夢について考える子どもが増えた」、「クラス内でより協力するようになった」といった変化が見られるなど、事業実施校から実施してよかったという声を多くいただいています。</p> <p>「夢先生」の経験を生で聴く機会は、情報化社会となった今日においても大変貴重なものであり、子どもたちが将来について考えるきっかけに繋がるものと考えますので、今後も継続して実施していきたいと思えます。</p>	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
64	まちづくり	93	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	<p>順調に増加していて、運用ルールも柔軟に追加/変更できている。小中学校施設の一般利用促進と合わせて、小中学生の体育（水泳など）で公立体育館/プールを利用することも検討を進めたい。</p>	<p>今後の水泳（プール事業）の実施方法やプール設備の在り方に関しては、関係各課および検討委員会で検討を行うこととしています。</p>	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
65	まちづくり	95	特定健診の受診率	<p>低い。多少は自己責任なところもあるが、せっかくの手厚いサービスが利用されないのは勿体無い。大々的に集中的に告知するなど、広報の仕方を要検討。</p>	<p>本市では、特定健診の開始時期にあわせて、国保特定健診対象者全員に対し受診券を発送しています。また、東部医師会、東部薬剤師会、関係機関等と連携し、ポスター掲示、チラシ配布等による広報を実施するとともに、健診啓発月間はもちろん様々な機会等を捉えて啓発活動を行っているところです。引き続き、関係機関等の協力もいただきながら、啓発活動や広報をおこなうとともに、WebやSNSの活用など効果的で有効な広報について検討をしていきたいと思えます。</p>	健康こども部鳥取市保健所	健康づくり推進課
66	まちづくり	95	特定健診の受診率	<p>市からの受診票を使用せず、会社などで健康診断を受けている人も多数いると思う。</p> <p>この受診率の数字で、無関心の割合を出すのは不適切だとは思いますが、それでも無関心層は一定の割合はいると思う。その方たちをどう割り出すのか疑問に感じる。</p>	<p>現在、本市では、無関心層への対策として、特定健診対象者（国保に限る）のうち、これまで健診を受診したことがない者及び受診歴はあるが3年間受診していない者を無関心層と位置づけ、通知、電話、個別訪問による受診勧奨を行っています。また、企業、関係機関等とも連携し、イベント等さまざまな機会を捉え特定健診の必要性について呼びかけなどを行っているところです。</p> <p>今後も広く特定健診・特定保健指導の必要性について啓発するとともに、引き続き、無関心層に対して受診勧奨を行ってまいります。</p>	健康こども部鳥取市保健所	健康づくり推進課
67	まちづくり	96	がん検診の受診率	<p>テレビやラジオ（FM鳥取）を通じた啓発を実施されてはどうでしょう。</p>	<p>今年度（令和6年度）は、いろ★ドリ（NHK）、とっとり知らせたい！（いなばびよんびよんネット）等のテレビ番組を通じ、鳥取市健康づくり地区推進委員と連携し、がん検診の啓発を実施いたしました。今後、テレビでの啓発に加え、ラジオ（FM鳥取）を活用した広報・啓発にも取り組んでまいります。</p>	健康こども部鳥取市保健所	健康づくり推進課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
68	まちづくり	96	がん検診の受診率	鳥取市ががん検診は受診していないくても、他の方法で受診しているということでしょうか。	本市では、どの保険に加入されていても対象年齢の方に受診券をお送りしていますが、職場でのがん検診の機会がある場合や治療中等により医療機関で定期的に検査をされている場合など、市のがん検診受診券を使用されない場合があります。	健康こども部鳥取市保健所	健康づくり推進課
69	まちづくり	96	がん検診の受診率	会社や病院と連携出来る仕組み作りも大切だと感じる。 市役所の受診票を使用しない受診方法もあるので、会社、病院との情報交換が必要だと思う。	本市では、医療機関、住民、企業、公的医療保険者、検診実施機関、学校等で組織する「鳥取市がん対策推進会議」を設置し、がん検診受診率向上やがん予防の推進、その他がん対策の推進について協議、情報共有を行い、連携した取り組みを行っているところです。 引き続き、関係機関が相互に取組や課題について共有し連携しながら取組を推進していきます。	健康こども部鳥取市保健所	健康づくり推進課
70	まちづくり	96	がん検診の受診率	小さな職場や個人事業主にもしっかりと情報を届け、受診を促したい。また、施設や時期によると思うが、検診予約しようとするのと随分と先の日程になることがある。このあたり改善できれば受診のハードルも下がるか。	検診受診率向上のためには、市民のみなさんはもちろん、個人事業主のみなさんや従業員数の多少に関わらずどの企業等にも十分な情報提供を行い、連携して受診を促す取組を行うことが必要と考えています。現在、市報やホームページ、「がん検診推進パートナー企業」を通じた情報提供を行っているところですが、引き続き、個人事業主のみなさんやどの企業にも十分な情報提供が行えるよう取り組んでまいります。 また、検診を実施する医療機関は、日程・規模等により検診可能人数の上限があります。他の医療機関では上限に達していない場合もありますので、検診実施医療機関について情報提供に努めてまいります。なお、集団検診であれば、人数が上限に達していない検診会場の案内や希望日に近い日程で案内することも可能です。今後も可能な限りご希望に沿った日程等で検診受診できるように努めてまいります。	健康こども部鳥取市保健所	健康づくり推進課
71	まちづくり	97	介護事業所や地域の集いの場へのリハビリ専門職の派遣	地区公民館などでもリハビリ専門職の住民に対する健康づくり講座などを開催してほしい。	住民を対象にした専門職による健康講座などは、地域の老人クラブ、サロン、健康づくり推進員などからの依頼により、要望に合った講師を選定して専門職派遣の段取りを行っています。	福祉部	長寿社会課
72	まちづくり	98	集いの場の箇所数	伸び悩みの主たる原因が地域の福祉関係者の高齢化であれば、達成率は今後さらに低下することが確実であり、従来の対策とは視点の異なる工夫も必要ではないか。 (地域食堂事業との連携発展の方向性など)	サロンの自主運営が難しくなったサロンの主催者・参加者が、市社協や民間企業の開催する通いの場へ参加する動きがあり、他事業との連携や評価方法の検討を行っています。	福祉部	長寿社会課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
73	まちづくり	-	(健康づくり・疾病予防・介護予防の推進施策に対するご意見)	事務事業「単位老人クラブ活動補助金」、「老人の明るいまち推進事業費」など、老人という名称の印象が良くないと感じました。別な名称に変更するのはどうでしょうか。	近年、時代の変化に伴い、老人クラブの名称を変更している自治体があることは把握しています。鳥取市としても、高齢者の方がより意欲的に活動できる場として、クラブのあり方や名称について、市民の皆様と検討してまいります。	福祉部	長寿社会課
74	まちづくり	-	(健康づくり・疾病予防・介護予防の推進施策に対するご意見)	老人クラブの維持も最近では活動ができていないところもかなり出てきているので、各地区のまちづくり協議会へ移行、再編も検討できないでしょうか。	近年、高齢者の増加に反して、老人クラブ数、老人クラブ会員数ともに減少傾向にあり、活動ができていないクラブもあると認識しております。このような状況を受け、地区との連携を深めるとい方向でまちづくり協議会への移行、再編を一つの選択肢として検討し、今後の老人クラブのあり方を市民の皆様と検討してまいります。	福祉部	長寿社会課
75	まちづくり	99	シルバー人材センター登録会員数	登録者増と合わせて、仕事の登録も案件の数や領域を広げていけるよう、センター側からの働きかけを強化したい。	シルバー人材センターは、毎年、鳥取商工会議所の会報誌にパンフレットを折込みして、企業からの仕事の案件を増やす取り組みを行っています。また、本市としても「とっとり市報」で、会員の声や活動中の写真などを特集記事として掲載し、シルバー事業の広報活動に協力しています。引き続きセンターの就業分野の開拓・拡大の取組を支援してまいります。	経済観光部	経済・雇用戦略課
76	まちづくり	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	大学生を地域の活動に巻き込むのは非常に意味がある取組。地元意識を醸成することはその後の進路にも影響があるので高校生も巻き込んでいきたい。	公民館における若者のまちづくり事業では、大学生が地域の小中高生を巻き込んだ事業を企画し、実施しているところもあります。子どもの頃から地域活動に関わることで、地域の人と人との繋がりの大切さに気づき、大人になってからも抵抗感なく地域活動に協力できる人材の育成につながることを期待しています。	市民生活部	協働推進課
77	まちづくり	106	地域活動の支援	地区により活動の熱量が大きく違う。積極的に活動している地区の事例共有などで、全体的な活性化をしていきたい。また、地区内でも町内会に参加していない世帯も多いので、地域内広報なども強めていきたい。	地域活動が活発化し、継続していくためには、様々な住民が地域活動に関わるのが重要です。本市としても、自治連合会などの関係団体と連携した町内会未加入世帯への加入促進の取組や、福祉・防災などにおける町内会での共助の重要性を一層広報することにより、地域活動への参加者の増加、町内会の活性化を支援していきたいと考えています。	市民生活部	協働推進課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
78	まちづくり	106	地域活動の支援	<p>地域活動は、地域のコミュニティや活気を生み出すために重要な存在だと思います。</p> <p>しかし毎年同じ活動や同じメンバーと同じことを行っても、地域の活性化は期待できないのではないのでしょうか？</p> <p>より発展的な活動を行うために、目的や関わる関係者を毎年考える必要性を訴える必要があると思います。</p>	<p>地域活動の維持・発展には、地域活動に様々な住民が関わることが重要だと考えていますが、高齢化や負担感などから役員の固定化、人材不足による活動の停滞が懸念されています。本市では、行政から地域へのお願い事項を極力減らし、役員の負担軽減を図るなど、多くの住民の皆さんが地域活動に参加しやすい環境づくりを進め、地域の活性化を支援していきたいと考えています。</p>	市民生活部	協働推進課
79	まちづくり	106	地域活動の支援	<p>コロナのため地域活動が衰退化している。地域住民が交流する機会を助長する支援を行ってほしい。</p>	<p>本市では、町内会やまちづくり協議会などが行う納涼祭や清掃作業などの様々な地域活動を支援する各種の補助制度を設けています。今後も、支援制度の周知を一層図るとともに、地域ニーズや制度の効果検証を踏まえ、必要に応じて見直しを行いながら、地域住民の交流を支援していきたいと考えています。</p>	市民生活部	協働推進課
80	まちづくり	107	地域食堂の設置校区数	<p>ふれあい・いきいきサロン事業（重点施策332健康づくり・疾病予防・介護予防の推進、福祉部所管）について、地域福祉関係者の高齢化に伴う担い手不足を原因として「集いの場の箇所数」達成率が③やや遅延との評価になっている。地域食堂も高齢者に対し集いの場を提供する機能を十分に有しており、両事業の連携強化を図ることにより、将来に向けた新たな展開が開けるのではないかと。</p>	<p>地域食堂は、地域における食支援のプラットフォームとして、こどもの居場所はもとより多世代の交流拠点として、各食堂によって多種多様な活動が展開されているところです。地域食堂の参加者では65歳以上の方が参加している食堂の割合は7割以上を占めており、ボランティアとして活動を支えていただいています。</p> <p>本市では、地域福祉の推進を図るため、地域福祉の民間の担い手である鳥取市社会福祉協議会（以下「市社協」）と一体的に策定した「鳥取市地域福祉推進計画」に基づき、市社協と一体となって、住民参加による地域福祉活動の促進を図れるよう取り組んでいるところです。この計画には、ふれあい・いきいきサロン事業とともに地域食堂も盛り込まれ、地域づくりの一環として位置づけているところです。今後も地域福祉事業との連携を図り、住民同士の交流が図れるよう取組を進めてまいります。</p>	総務部人権政策局	人権推進課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
81	まちづくり	107	地域食堂の設置校区数	とても素晴らしい事業の一つだと感じる。 ただ立ち上げる事が目的となってしまう、本当に困っている人へこのような事業の利用が出来る事を発信出来ているのかが疑問に感じる。私も子育て世代にいるが、耳にしたことがない。食堂の継続も必要だと思うが、発信方法を改めて見直してほしい。	本市では、公式ホームページに地域食堂の紹介を行っているほか、「鳥取市子育て手帳」に情報を掲載しています。また、「鳥取市」をライン登録していただくと、子育て・教育メニューから地域食堂の一覧をご覧いただくことができます。 現在、認定NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえが、こども食堂・地域食堂の活動について、公益社団法人ACジャパンによる支援キャンペーンにより、テレビ・ラジオ・新聞雑誌等、全国の各メディアで放送・掲載されているところです。この広報活動は、令和6年7月から令和7年6月まで1年間実施される予定となっています。 また支援団体である「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」のホームページでは、各地域食堂MAPを掲載しているほか、協力企業・団体の紹介、フードドライブ事業や、支援したい企業や市民の皆さまに対して、食材の寄附やボランティアの呼びかけをしているところです。令和6年3月には、国の交付金を活用して、地域食堂シンポジウムを開催し、地域食堂の社会的意義や地域共生社会に向けて機運の醸成を図りました。今後も情報発信に努めてまいります。	総務部人権政策局	人権推進課
82	まちづくり	108	共生型サービスの実施事業者数	共生型サービスに興味はあるがハードルが高く検討を進められない事業者は少なからずいる。既存事業者のサービスに関わる機会、全国の優良事例の事業者を呼んで意見交換する機会などをつくることで、参入ハードルを下げたい。同時に、既存事業者にとっても新たな知見を入れることで利用者増加に転じたい。	介護保険サービス事業所、障害福祉サービス事業所への集団指導等を通じて、引き続き、共生型サービスの周知を図ることとしています。併せて、障がいのある方が65歳以上になったときに、利用する事業所を変わることなく、継続してサービスが利用できるような体制強化を図るため、事業所を対象としたアンケート調査を実施し、実態を把握したうえで、共生型サービスの増加につながる対策を検討したいと考えています。	福祉部	指導監査室
83	まちづくり	112	地域の各種団体等関係者で話し合う場の設置数	各地域のキーパーソンに直接アプローチし、ある程度強引に巻き込んでいけるかが重要。	各地域でキーパーソンと繋がり、地域の現状や地域をどうしていきたいか等を地域と共有及び意見交換し、どのような形で地域の状況や課題を行政や相談機関に繋げていくのが適切か検討してまいります。	福祉部	長寿社会課
84	まちづくり	115	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数	交流員の負担が大きくなりすぎない程度にだが、交流員のキャラクター含めSNSでの発信も絡めることで、好意的な受講ニーズを高められるか。	現在、国際交流員の活動内容や派遣事業のチラシを作成し、市内小中学校への配布や市公式HPへの掲載を行っています。今後はFacebookなどSNSをさらに活用し、周知を図っていきたいと考えています。	企画推進部	文化交流課
85	まちづくり	116	防災リーダーの設置地区数	目標は達成していると思うが、防災リーダーの養成は災害が多く発生する時代、集落に一人以上必要なのでは。	防災リーダーの確保については、すべての地区での登録が現在の目標ではありますが、既に登録が行われている地区内での防災リーダーの更なる確保も行っており、災害時に地域のリーダーとなれる人材の確保・育成に今後も努めてまいります。	危機管理部	危機管理課

5. 外部評価ご感想等

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
1	ひとづくり	1	鳥取市の合計特殊出生率	出生率の低下は、総合的な要因が大きいと思う。結婚・出産・子育て支援は継続しつつ、総合的な対策が必要。	企画推進部	地方創生推進室
2	ひとづくり	1	鳥取市の合計特殊出生率	保活に対する不安や現状をみると順調とはいえない。	健康こども部 こども家庭局	幼児保育課
3	ひとづくり	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	若者だけではなく、幅広い年代で結婚を望む人すべてに支援していく。	企画推進部	政策企画課
4	ひとづくり	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	若年層の県外への進学や就職で、県内で結婚・出産まで進展していくのは難しいと思う。	企画推進部	政策企画課
5	ひとづくり	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	気持ちとしては、もう少し中期的に見ることとして、②でもいいように思います。(R5が少ないのは何か特殊事情があるのでは…)	企画推進部	政策企画課
6	ひとづくり	5	妊婦相談率	出産費用の低額はとてもありがたい。	健康こども部 こども家庭局	こども家庭センター
7	ひとづくり	6	新生児訪問の訪問率	子育て支援、小児科の充実は素晴らしい。	健康こども部 こども家庭局	こども家庭センター
8	ひとづくり	6	新生児訪問の訪問率	概ね100%と見なせるのではないのでしょうか。保健師さんはよく頑張っておられると感じます。ただし、電話での聞き取りもこの数字の中に含まれていると思われませんが、やはり実際に訪問して面談するに越したことはないでしょう。訪問・面談率の向上に努めていただきたいと思います。	健康こども部 こども家庭局	こども家庭センター
9	ひとづくり	8	保育園の待機児童数(10月1日現在)	目標値は未達成ですが、働き手不足の中、待機児童数が減少しているので、評価としては③が適当と考えます。	健康こども部 こども家庭局	幼児保育課
10	ひとづくり	11	鳥取市男女共同参画かがやき企業認定数	体験していないのでコメントできません。	総務部人権政策局	男女共同参画課
11	ひとづくり	11	鳥取市男女共同参画かがやき企業認定数	数値上は①とせざるを得ませんが、この数値は各年度末の累計認定企業数のようです。とすれば、少し目標値が少なすぎるのではないのでしょうか。年間10企業程度増加させるような取り組みが望ましいと考えます。	総務部人権政策局	男女共同参画課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
12	ひとづくり	12	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(小学校)	アンケート結果だけでしょうか。よくわかりません。	教育委員会事務局	学校教育課
13	ひとづくり	12	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(小学校)	児童生徒に理解しやすい質問になったために実績値が大きく変化したことに対し驚きました。R6以降の目標値を見直す必要がありますね。	教育委員会事務局	学校教育課
14	ひとづくり	13	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(中学校)	アンケート結果だけでしょうか。よくわかりません。	教育委員会事務局	学校教育課
15	ひとづくり	13	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(中学校)	目標値が低いのではないかと。	教育委員会事務局	学校教育課
16	ひとづくり	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(小学校)	一人ひとりの実情やニーズに応じた教育の充実を図るアンケートで「授業がよくわかる」の質問がよくわからない。	教育委員会事務局	学校教育課
17	ひとづくり	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(小学校)	経験の浅い教員が増えている中で「授業がよくわかる」の実績がキープできていることに現場の努力を感じます。今後も現場への励ましと支援をお願いします。	教育委員会事務局	学校教育課
18	ひとづくり	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(小学校)	微少ですが%が少しずつ下がっているのが気になります。	教育委員会事務局	学校教育課
19	ひとづくり	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(小学校)	小学校の学力が全国平均より下回っていると先日学校の報告があったのが残念。	教育委員会事務局	学校教育課
20	ひとづくり	16	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(中学校)	一人ひとりの実情やニーズに応じた教育の充実を図るアンケートで「授業がよくわかる」の質問がよくわからない。	教育委員会事務局	学校教育課
21	ひとづくり	17	学校が楽しいと思う児童生徒の割合(小学校)	小学校校長先生の任期(異動)が2年と少し短いような気がします。	教育委員会事務局	学校教育課
22	ひとづくり	18	学校が楽しいと思う児童生徒の割合(中学校)	不登校が多いのが気になる。	教育委員会事務局	学校教育課
23	ひとづくり	19	地区公民館事業の取組評価	市民がどう考えているかが重要では。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
24	しごとづくり	23	大学生県内就職率	目標値が高く、達成の見込みがない。	経済観光部	経済・雇用戦略課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
25	しごと づくり	23	大学生県内就職率	就職活動の早期化が早急に進行しており、就活前から県内企業を知ってもらう取り組みがますます重要になる。	経済観光部	経済・雇用戦略課
26	しごと づくり	24	市内製造品出荷額等	付加価値生産性の向上に努めること。	経済観光部	企業立地・支援課
27	しごと づくり	26	市内農業産出額	R5、R6年と高い目標を設定されており、さらなる推進に期待したい。	農林水産部	農政企画課
28	しごと づくり	26	市内農業産出額	評価するが、もともと目標値設定がいかがなものか。	農林水産部	農政企画課
29	しごと づくり	26	市内農業産出額	R5、R6の目標達成状況を見ていきたい。	農林水産部	農政企画課
30	しごと づくり	27	市内木材搬出量	達成は難しい。指標5が必要であるのか疑問。	農林水産部	林務水産課
31	しごと づくり	28	市内漁獲量	先細りの感は否めない。	農林水産部	林務水産課
32	しごと づくり	29	補助事業（所得向上メニュー）指定企業における投下固定資産額の累計	補助事業、支援メニューなどをわかりやすく、幅広く周知、広報することを推進していただきたい。	経済観光部	企業立地・支援課
33	しごと づくり	30	市公式インターネットショップ「とっとり市」の売上金額の累計	順調だが、市が行う事業であるべきかはやや疑問。	経済観光部	経済・雇用戦略課
34	しごと づくり	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	円安の状況では難しい。	経済観光部	経済・雇用戦略課
35	しごと づくり	32	市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計	本市における外国人雇用の必要性は高く、更に日本語学校支援に注力すべきと考える。	経済観光部	企業立地・支援課
36	しごと づくり	32	市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計	R6、R7で改善してほしい。	経済観光部	企業立地・支援課
37	しごと づくり	33	まちづくり投融資制度（投資・融資）の活用実績額の累計	制度の周知方法などを検討していただきさらなる推進を期待したい。	経済観光部	企業立地・支援課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
38	しごとづくり	33	まちづくり投融资制度（投資・融資）の活用実績額の累計	いきなりまちづくりではなく「ひとづくり」の投資が欲しい。	経済観光部	企業立地・支援課
39	しごとづくり	35	農商工連携マッチング支援事業者数の累計	一定のマッチングニーズがあるが、どこまで伴走支援するのが良いか。	経済観光部	企業立地・支援課
40	しごとづくり	36	補助事業指定企業における投下固定資産額の累計	設備投資意欲が高いとは思えない。	経済観光部	企業立地・支援課
41	しごとづくり	37	産学官連携による新技術開発事業活用件数の累計	廃止で良い。	経済観光部	経済・雇用戦略課
42	しごとづくり	39	新規のオフィス設置数（市関与分）の累計	中心市街地の活性化につなげてほしい。	経済観光部	企業立地・支援課
43	しごとづくり	40	「鳥取市ふるさと物産館」等の売上金額の累計	目標値がそもそも低い。	経済観光部	経済・雇用戦略課
44	しごとづくり	41	麒麟のまち関西情報発信拠点での売上金額の累計	アンテナショップとしての役割は果たしていると思う。	経済観光部	経済・雇用戦略課
45	しごとづくり	41	麒麟のまち関西情報発信拠点での売上金額の累計	本施設の魅力がないのでは。企業なら死活問題です。	経済観光部	経済・雇用戦略課
46	しごとづくり	42	市公設地方卸売市場の取扱高の累計	地方卸売市場としては頑張っているほうだと思う。	経済観光部	経済・雇用戦略課
47	しごとづくり	42	市公設地方卸売市場の取扱高の累計	物流問題、消費動向、実質賃金マイナスなどの環境からも目標値は現実的でなく、計画の見直しは必要。	経済観光部	経済・雇用戦略課
48	しごとづくり	43	市内の新規農業担い手数の累計	規模の拡大やスマート農業の普及は難しいが、ブランド化や6次産業化は進めて欲しい。	農林水産部	農政企画課
49	しごとづくり	44	市内の新規林業従事者数の累計	数は伸びているが定着するかどうかが見極めたい。	農林水産部	林務水産課
50	しごとづくり	45	市内の新規漁業就業者数の累計	達成は困難と思われる。	農林水産部	林務水産課
51	しごとづくり	46	市戦略作物の出荷量	新規就農者の育成する農産物に特定し、普及すべきと考えます。	農林水産部	農政企画課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
52	しごとづくり	47	キジハタ漁獲量	取組を続けてほしい。	農林水産部	林務水産課
53	しごとづくり	48	担い手農家への農地集積率	機械施設整備支援は、農業者の活用しやすい要件等を検討ください。	農林水産部	農政企画課
54	しごとづくり	48	担い手農家への農地集積率	目標値が高すぎると思われる。	農林水産部	農政企画課
55	しごとづくり	49	森林経営計画等作成面積	特に問題ない。	農林水産部	林務水産課
56	しごとづくり	51	6次産業化取組支援件数の累計	6次産業化のプロセス、成功事例の情報発信等の強化に期待したい。	農林水産部	農政企画課
57	しごとづくり	53	スマート農業支援件数の累計	アプリの開発が進んでほしい。	農林水産部	農政企画課
58	しごとづくり	53	スマート農業支援件数の累計	取組支援後の導入支援との数値の関連性もフィードバックの必要があります。	農林水産部	農政企画課
59	まちづくり	54	移住定住者数	コロナ禍で移動・交流等が難しい時なので、実績の数値は評価できると思う。一層の情報発信をし、交流の機会を増やしてほしい。	市民生活部	地域振興課
60	まちづくり	54	移住定住者数	数値目標が各年とも同数であり、この数値が適正なのか疑問。	市民生活部	地域振興課
61	まちづくり	54	移住定住者数	達成率が目標値の96%前後であること、加えて移住者世帯主の年齢層が20代～40代が80%という構成が、将来を明るくしてくれると思います。移住者の居住期間や動向なども引き続き注視していただきたいです。	市民生活部	地域振興課
62	まちづくり	54	移住定住者数	雇用：多様な職種や雇用機会の確保が必要です。地域内での雇用創出や企業誘致に取り組むことで、移住者にとって働きやすい環境を整えることが重要だと思います。 教育・医療・福祉：充実した教育環境や医療・福祉サービスの提供が必要です。地域の魅力を高めるためには、子育て世代や高齢者を含めた豊かな生活基盤が欠かせないと考えます。 地域とのつながり：地域住民との交流や地域コミュニティへの参加が重要です。地域のイベントや活動の情報提供、地域への理解と参画を促進することで、移住後に孤立し流出を抑える必要もあると考えます。	市民生活部	地域振興課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
63	まちづくり	55	観光入込客数	順調に増えている。鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺となると少し広域になるので、エリア間での課題共有や連携もサポートしていければいい。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
64	まちづくり	55	観光入込客数	鳥取の観光地である砂丘、城跡、まちなか、麒麟のまち圏域、ジオパーク、鹿野など、各地域が抱える課題は多岐にわたる。それぞれの課題に対して、どのように向き合い、解決していくかを検討する際には、地域間の横の連携が重要である。また、各観光拠点がどれだけ観光客をもてなし、滞在へと繋げられるかが鍵となる。 鳥取の滞在型観光の課題は、砂丘に観光客が集中する状況から、他の観光地へどう誘導し、鳥取での宿泊を促進するかにある。これを実現するためには、二次交通の整備、宿泊施設や飲食店の拡充、駐車場不足の解消など、さまざまな側面での改善が求められている。特に、観光地全体で観光客が消費する仕組みが十分に整っておらず、結果として砂丘を訪れた観光客が他県へ宿泊してしまう状況が課題である。 さらに、砂丘から他の観光地へと自然に流れ、訪れたいような仕組み作りも重要だと感じる。個別の地域課題と、鳥取全体の観光課題は異なるが、それぞれを整理し、全体を統合的に検討することが今後の重要なテーマと感じる。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
65	まちづくり	55	観光入込客数	鳥取砂丘は鳥取市の観光の核であるが、それに各地域にある吉岡温泉や浜村温泉の魅力を結び付けたり、地域固有の食・文化をもっと連携させて、外国人に紹介するなどして観光振興を図ってほしい。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
66	まちづくり	57	地域魅力度	鳥取市がもつ豊かな自然や様々な伝統文化などをもっと積極的にPRし、シティセールスしてほしい。	企画推進部	政策企画課
67	まちづくり	57	地域魅力度	順位を拝見する限りは、評価4となります。 一方で、ブランド総合研究所の地域ブランド調査結果が指標として適切かという疑念はもちます。	企画推進部	政策企画課
68	まちづくり	58	麒麟のまち圏域の人口	実績値の減少が加速している。そもそも麒麟のまち連携中枢都市圏が何なのか、どのような意義があるのか、圏内の認知が弱い。圏域に関わる人への広報から仕切り直したい。	企画推進部	政策企画課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
69	まちづくり	58	麒麟のまち圏域の人口	ある程度の人口減少は致し方ないと思う。	企画推進部	政策企画課
70	まちづくり	59	移住相談登録者数	目標値が高いかもしれませんが、都市部の住民に届くよう引き続き情報発信に努力してほしい。	市民生活部	地域振興課
71	まちづくり	59	移住相談登録者数	移住相談登録者数については評価3となるが、実際の移住者数の数字を拝見すると評価が違ってきます。登録者の数だけでなく、登録者の移住の動向や、感想なども追って調査できれば、実のある成果に繋がるのではと感じました。	市民生活部	地域振興課
72	まちづくり	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	この問題は、地域の景観や経済に悪影響を与えるだけでなく、活用次第では地域の活性化にも大きく関わる問題だと思います。この取り組みが進むことで、地域の空き家をリノベーションして住宅や宿泊施設として利用する取り組みも有効になると思います。地域の魅力を生かしたデザインや、地域住民との交流を促すような施策と一緒に解決する事で、解決される課題もあると期待します。	市民生活部	地域振興課
73	まちづくり	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	空き家はかなりの数があると思う。移住促進のためにも、空き家の掘り起こし、利活用を積極的に進めてほしい。	市民生活部	地域振興課
74	まちづくり	61	魅力ある民泊に向けた取組団体数	件数が少ないので、候補となる事業者も把握しやすいはず。直接アプローチしていける。	市民生活部	地域振興課
75	まちづくり	61	魅力ある民泊に向けた取組団体数	民泊の需要があって、また事業として継続できるものなのかがカギを握るのではないかと思いました。	市民生活部	地域振興課
76	まちづくり	62	関係人口拡大に取り組む団体の数	一気に増えるものではないと思うので、引き続き、既存団体の支援をしつつ、候補となる個人/団体への直接アプローチもしていく。	市民生活部	地域振興課
77	まちづくり	62	関係人口拡大に取り組む団体の数	地域活性化に取り組む団体の活動を通して、関係人口拡大はもとより、様々な文化・スポーツ団体などの活動を通して関係人口拡大に取り組んでも良いと思う。	市民生活部	地域振興課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
78	まちづくり	64	外国人宿泊者数	鳥取市に限らず増加傾向にあると思うので、宿泊してくれた外国人の満足度を高めていきたい。宿泊施設以外の飲食店や小売店の英語表記促進など、エリア全体での受入体制整備をサポートしていきたい。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
79	まちづくり	64	外国人宿泊者数	経済成長が急激に停滞し、回復の見込みが相当不透明な中国・韓国方面から、経済安全保障上の繋がりにも深化が見込まれる台湾へのプロモーション強化は、時代の流れとしても望ましい方向性。 中長期的には人口・経済ボリューム・成長余力も大きいイスラム圏（インドネシア、マレーシア3億人、GDP2兆USD）へのアプローチにも着目すべき。円安も追い風となっている良い機会。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
80	まちづくり	65	シティセールス取組評価値	地域の魅力はまとめてしまうと、他地域と似たり寄ったりになりがちで、PR方法もまた然りだと思う。もっと1人1人が感じている具体的な魅力を拾い上げ、個人ならではの切り口のまま発信するなど、本当の意味での今の鳥取でしかできないシティセールスのあり方を考えたい。	企画推進部	政策企画課
81	まちづくり	65	シティセールス取組評価値	評価基準があいまいな事柄に関する一般市民からのイメージアンケート回答では、年度によって結果が上下振幅する余地あり。地域ブランド調査の順位向上そのものを指標とする方が単純明快だと思いますが。	企画推進部	政策企画課
82	まちづくり	65	シティセールス取組評価値	職員研修を通して職員自らが本市の魅力を知ること大切。著名人や有名人に本市の魅力を中央より発信してもらうことも有効かも。	企画推進部	政策企画課
83	まちづくり	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	令和2年の実績値が20,655で令和3年が20,000、令和4年が36,000といった目標値が適当なのか疑問である。	企画推進部	秘書課広報室
84	まちづくり	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	普段主婦としてまた市民として、出来る限りの情報を発信しているように感じた。 引き続き取組んでいただきたい。	企画推進部	秘書課広報室
85	まちづくり	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	自分も公式ラインを活用している。市の魅力的だがあまり知られていない取組も少なくないと思うので、それらの発信を強化していきたい。	企画推進部	秘書課広報室

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
86	まちづくり	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	実績値は減少団体数と新規加入団体数の相殺後の数値になっていると思いますが、「マイナス3プラス1」のような再掲があれば、より適切な評価がしやすくなると思います。	企画推進部	地方創生推進室
87	まちづくり	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	数値目標が各年とも同数であり、この数値が適正なのか疑問。	企画推進部	文化交流課
88	まちづくり	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	文化芸術によるまちづくりは、豊かな文化的生活を続けるためにも大切。引き続き文化施設の機能維持に努めてほしい。	企画推進部	文化交流課
89	まちづくり	68	文化芸術鑑賞者数	文化団体などと連携され、市民の欲する文化芸術鑑賞を上演できているということも成果につながったのではないかと感じました。引き続きよろしくお願いします。	企画推進部	文化交流課
90	まちづくり	68	文化芸術鑑賞者数	SNSなどを通じた情報発信や施設の機能維持や必要があれば既存施設の改修に努めてほしい。	企画推進部	文化交流課
91	まちづくり	68	文化芸術鑑賞者数	文化芸術に気軽に触れる機会が多いことが、鳥取の魅力の一つとなるようにしていきたい。人口の多い都市部ではなかなか難しいであろう、作品だけでなく作者とのコミュニケーションの場づくりなども独自の魅力となりうるか。	企画推進部	文化交流課
92	まちづくり	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	実績値だけでいうと伸びているが、鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺エリア以外では伸び悩んでいると思われる。6町の事業者同士での交流を促進することで、麒麟のまち圏域という概念をまずは内側で浸透させ、観光客の回遊に繋げていきたい。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
93	まちづくり	70	麒麟のまち圏域への移住者数	海、山、温泉など個性ある地域が集まった圏域なので、圏域全体の魅力と合わせてバリエーション豊かな各地域の魅力を個別で紹介しつつ比較選択してもらいたい。	市民生活部	地域振興課
94	まちづくり	70	麒麟のまち圏域への移住者数	数値目標が各年とも同数であり、この数値が適正なのか疑問。	市民生活部	地域振興課
95	まちづくり	70	麒麟のまち圏域への移住者数	圏域市町が連携した取り組みは、もっと市内外にPRし取り組んでほしい。	企画推進部	政策企画課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
96	まちづくり	72	中心市街地の居住人口（社会増減数）	増減は複合的・多数の要因の差し引き結果と思われる、特定の対策のみをもって有意な実績を重ねていくことには相当の困難を伴うのではないかと。	都市整備部	まちなか未来創造課
97	まちづくり	72	中心市街地の居住人口（社会増減数）	何が足りなくて未達成だったのか、考える必要があると思う。	都市整備部	まちなか未来創造課
98	まちづくり	72	中心市街地の居住人口（社会増減数）	中心市街地の居住人口の増減数の指標に意味があるのか不明。魅力ある中心市街地や中山間地、総じて魅力ある鳥取市を創出し、市全体の住み良いまちづくりを進め、人口増に結びつける施策が大切だと考える。	都市整備部	まちなか未来創造課
99	まちづくり	73	小さな拠点の形成箇所数	恥ずかしながら「小さな拠点」のことを知らなかったが、今後各地域に必ず必要となるものなので、既存事業フォローと合わせて新規候補団体への直接アプローチも進めていきたい。	市民生活部	地域振興課
100	まちづくり	73	小さな拠点の形成箇所数	そこで生活している住民が主体的になって地域づくり、まちづくりの取り組みは重要だと思うので、積極的に支援してほしい施策と考える。	市民生活部	地域振興課
101	まちづくり	76	高速道路整備に係る要望活動数	声を上げ続ける事が必要だと思う。必要に応じて内容を確認しながら、続けていただきたい。	都市整備部	都市企画課
102	まちづくり	76	高速道路整備に係る要望活動数	高速道路網の整備は利便性の高い生活環境を進めるうえで重要な施策と思うので、積極的に進めてほしい。	都市整備部	都市企画課
103	まちづくり	77	協働による芝生化の箇所数	着々と芝生化が進んでいる。公園やスポーツ施設だけでなく、歩道や広場などの使われていない余剰空間の芝生化なども進めば、まちの特色が出ていいと思う。	都市整備部	河川公園課
104	まちづくり	78	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日）	昨年からの増加が賑わい創出に係る各種事業の取組効果によるものかは疑問。1日1地点あたり300人の通行量を増やすためには既存のやり方とは別軸での施策が必要。	都市整備部	まちなか未来創造課
105	まちづくり	78	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日）	魅力ある中心市街地のイメージアップが魅力ある鳥取市の姿として映し出されると思う。ゆっくり歩いて楽しめる中心市街地の街並みとなってほしい。	都市整備部	まちなか未来創造課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
106	まちづくり	78	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日）	コロナの回復に伴う自然増加で、何か工夫と努力をした結果ではないと考える。またこの課が鳥取城跡の復元整備等の促進に取り組んでいる声を聞いたことがない。この課がどんな取組をして、何が課題で、次年度どう取り組むのかを再度考える必要があると感じる。	都市整備部	まちなか未来創造課
107	まちづくり	79	中心市街地における歩行者・自転車通行量（休日）	昨年よりは増加しているが、コロナ期間含むここ数年の中でも低い。平日同様、賑わい創出に係る各種事業の取組効果によるものかは疑問。1日1地点あたり400人の通行量を増やすためには既存のやり方とは別軸での施策が必要。	都市整備部	まちなか未来創造課
108	まちづくり	79	中心市街地における歩行者・自転車通行量（休日）	ハード面の整備とともに、魅力あるイベントの開催などを通して、滞留し何か楽しめるようなまちづくりを進めてほしい。	都市整備部	まちなか未来創造課
109	まちづくり	80	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	他事業と同じだが、候補となる団体が把握可能な規模感なので、直接のアプローチで実績を重ねていきたい。	市民生活部	地域振興課
110	まちづくり	80	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	事業の存在自体を知りませんでした。勉強するとともに周知も行いたいです。	市民生活部	地域振興課
111	まちづくり	80	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	住民自らが取り組む地域づくり活動は大切だと思う。各団体の成果発表などを開催され、地域づくり活動を支援していただきたい。	市民生活部	地域振興課
112	まちづくり	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	後継者不足は伝統工芸のみではなく、農業や漁業、製造業の世界でもあるのでは。好奇心ややる気ある若者育成が大切と思う。	経済観光部	経済・雇用戦略課
113	まちづくり	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	難しい課題だと思うが、伝統文化、伝統工芸を守っていく事は大変重要な課題だと思います。後継者がいない問題以外にも様々な問題があると思う。今後、伝統が衰退しないためにも、しっかりと取り組んでいてもらいたい。	経済観光部	経済・雇用戦略課
114	まちづくり	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	上にある通り高校生や大学生、また市や県の若手職員など若年層への広報を強化したい。	市民生活部	地域振興課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
115	まちづくり	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	鳥取ふるさとリーダーアカデミーの結果が出ているとのこと、過疎化や、中山間地域の課題、移住定住などと、他の課題と共に解決することが出来ないのかと感じる。	市民生活部	地域振興課
116	まちづくり	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	本市の発展のためには、リーダー養成は大切な視点であり、重要な施策が必要。	市民生活部	地域振興課
117	まちづくり	83	共助交通の導入件数	国府地域にも是非お願いしたいです。	都市整備部	交通政策課
118	まちづくり	84	鉄道利用者数の減少抑制	ローカル駅の「小さな拠点」的な活用など、鉄道に寄り添ったコミュニティ形成の支援ができればいい。	都市整備部	交通政策課
119	まちづくり	84	鉄道利用者数の減少抑制	鉄道利用者数の減少を抑制することは難しいと思う。県や市の職員が率先して利用促進していただくことでしょうか。	都市整備部	交通政策課
120	まちづくり	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	航空運賃が少しでも安価になれば、利用者増につながるかも。関係機関が連携し、利用促進に取り組むしかない。	都市整備部	交通政策課
121	まちづくり	86	超高速インターネットサービス世帯充足率	順調に進められていると思う。	企画推進部	デジタル戦略課
122	まちづくり	86	超高速インターネットサービス世帯充足率	今回の施策によって山間部を中心にNTTの電波が届かない地域にインフラの整備を進めていると認識しています。施策により、地域の方々はより便利な生活を送ることができるようになります。インフラの整備が今の生活には欠かせない必要な項目であると感じています。これからも地域の皆様にとってより良い環境が提供されることを期待しています。	企画推進部	デジタル戦略課
123	まちづくり	87	公共Wi-Fiの拠点数	整備は進んでいると思う。	企画推進部	デジタル戦略課
124	まちづくり	87	公共Wi-Fiの拠点数	Wi-Fiの整備は災害時や、観光客に対しても大変重要な整備だと思っています。優先順位をつけて、引き続き環境の整備をしていく事が必要だと感じています。	企画推進部	デジタル戦略課
125	まちづくり	87	公共Wi-Fiの拠点数	優先順位に沿って実績を伸ばしている。	企画推進部	デジタル戦略課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
126	まちづくり	88	とっとり電子申請サービスの利用件数	目標値の想定数値が少ないのでは。	企画推進部	デジタル戦略課
127	まちづくり	88	とっとり電子申請サービスの利用件数	使いやすくていいと思う。申請時以外にも、自分に関連する施策や補助金などを閲覧するようなサービスとなればさらに利用も増える。	企画推進部	デジタル戦略課
128	まちづくり	89	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（女性）	大切な施策と思う。老人クラブや集落内のミニデーなどの集まりに参加する高齢者は啓発ができるが、孤立化する高齢者の対応が難しいと思う。若い時から啓発が必要。	福祉部	長寿社会課
129	まちづくり	89	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（女性）	お堀や袋川や花見橋通りなど、魅力的な散歩ルートを設定し、周辺の公園や街中の余剰公共空間や空き店舗には健康器具を置き、日常的に体を動かせる場を散りばめる、グラウンドゴルフなど気軽に取り組み横の繋がりも生まれるスポーツをもっと広めていくなど、高齢者の健康維持増進を切り口に魅力あるまちづくりをする。	福祉部	長寿社会課
130	まちづくり	90	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（男性）	社会的に孤立した高齢者の対応が難しい。地域内での積極的な声掛けが必要。	福祉部	長寿社会課
131	まちづくり	90	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（男性）	お堀や袋川や花見橋通りなど、魅力的な散歩ルートを設定し、周辺の公園や街中の余剰公共空間や空き店舗には健康器具を置き、日常的に体を動かせる場を散りばめる。 グラウンドゴルフなど気軽に取り組み横の繋がりも生まれるスポーツをもっと広めていく。 など、高齢者の健康維持増進を切り口に魅力あるまちづくりをする。	福祉部	長寿社会課
132	まちづくり	91	市民体育祭の延べ参加地区数	事業自体の見直しが必要なのかもしれません。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
133	まちづくり	93	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	こちらは利用したことがあるが、今の時代に合ったとても良い取組みだと思った。引き続き、課題や便利向上を図っていただきたい。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
134	まちづくり	93	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	既存施設の有効活用は大切だと思う。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
135	まちづくり	94	地域等での健康教育・相談の延べ参加者数	順調に回復している。参加した人が周りの人を啓蒙していけるような広がりのある伝え方など工夫したい。	健康こども部 鳥取市保健所	健康づくり推進課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
136	まちづくり	94	地域等での健康教育・相談の延べ参加者数	今までと同様、啓発活動は必要だと感じます。	健康こども部 鳥取市保健所	健康づくり推進課
137	まちづくり	94	地域等での健康教育・相談の延べ参加者数	目標値に対して実績値は達成しているが、目標値が適切か。地域に出向き積極的に行ってほしい。	健康こども部 鳥取市保健所	健康づくり推進課
138	まちづくり	95	特定健診の受診率	健康だと思っている人は特定健診に無関心になると思う。啓発が大切。	健康こども部 鳥取市保健所	健康づくり推進課
139	まちづくり	97	介護事業所や地域の集いの場へのリハビリ専門職の派遣	専門職派遣のメリットは大きい。このような人材の交流は継続的に行なっていきたい。	福祉部	長寿社会課
140	まちづくり	98	集いの場の箇所数	担い手の養成は難しいと思うけど、現実には不足しています。区長や地域のリーダー等の集まる機会に啓発して養成してください。	福祉部	長寿社会課
141	まちづくり	98	集いの場の箇所数	麻雀や園芸など、それぞれの集いの場のコンテンツの特色をある程度打ち出してつくっていくことも効果的か。 自分個人の話にはなるが、自営業をしている父などの世代がリタイア後にポジティブに集まれるような場をつくりたいと考えてはいる。しかし、事業として考えるとなかなか難しく実現には至っていない。このような事業者も少なからずいると思うので、小さな公民連携で地域ごとにつくっていければいい。	福祉部	長寿社会課
142	まちづくり	99	シルバー人材センター登録会員数	元気な高齢者が地域を支える一助となっています。引き続き支援してください。	経済観光部	経済・雇用戦略課
143	まちづくり	99	シルバー人材センター登録会員数	会員と、企業とのマッチングも高い割合を出しているようで、引き続き企業の雇用問題の解決に一役買える戦略として取り組んでもらいたい。	経済観光部	経済・雇用戦略課
144	まちづくり	104	自主防災活動助成件数	昨今の災害多発化に伴い、防災意識は高まっていると思う。引き続き地域の防災力向上に努めてほしい。	危機管理部	危機管理課
145	まちづくり	104	自主防災活動助成件数	よろしくお願ひします。	危機管理部	危機管理課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
146	まちづくり	104	自主防災活動助成件数	地区により活動の熱量が大きく違う。防災リーダーの情報交換、積極的に活動している地区の事例共有などで、全体的に防災意識を高めていきたい。また、地区内でも町内会に参加していない世帯も多いので、便りを入れても読まれないことまで想定しての情報の届け方を検討していきたい。	危機管理部	危機管理課
147	まちづくり	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	鳥取大学、環境大学の学生はもとより、留学生も交流を求めています。若者との交流を進め、地域の維持、活性化を図ってほしい。	市民生活部	協働推進課
148	まちづくり	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	地域や公民館では、年配の方や長くその地域に住んでいる方が中心的な存在となり、新しい人が関わりづらい状況や独特の雰囲気があります。しかし、新たな関係性を構築する取り組みは、地域が取り残されることを防ぐために必要だと感じます。またこのような取組が、地域の伝統文化の保存や継承に繋がれば、地域の発展にとって良いことと思います。	市民生活部	協働推進課
149	まちづくり	107	地域食堂の設置校区数	件数は増加しているが、認知はまだ限定的であるよう。引き続き運営者のサポートをしつつ、利用者支援者それぞれへの広報を強化していきたい。	総務部人権政策局	人権推進課
150	まちづくり	107	地域食堂の設置校区数	今の時代「地域食堂」の必要性は感じるが、そもそも「地域食堂」以前に家庭環境や子どもの生活実態の改善が必要と思う。	総務部人権政策局	人権推進課
151	まちづくり	108	共生型サービスの実施事業者数	今後の同サービスに対する需要動向を正確に分析把握することが重要であり、そのうえで適切な事業展開を図るべき。	福祉部	指導監査室
152	まちづくり	108	共生型サービスの実施事業者数	共生サービスは今後期待したい事業だと思っていました。よろしくをお願いします。	福祉部	指導監査室
153	まちづくり	108	共生型サービスの実施事業者数	実態や制度がよくわかりません。	福祉部	指導監査室
154	まちづくり	109	医療・介護事業者の連携達成度指数の平均値	他職場、他職種との「ポジティブな」コミュニケーションを促進するために、施設やチームごとの良い取組や職員個人の質の高いサービスなどプラスの事例を表彰する大会など開催しても良い。	福祉部	長寿社会課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
155	まちづくり	109	医療・介護事業者の連携達成度指数の平均値	専門性を求めれば、互いの職種間での競争が進み、連携は難しくなると感じる。それぞれの垣根や縄張り意識を軽減し、地域に出向き、困っている人を救ってほしい。	福祉部	長寿社会課
156	まちづくり	110	地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口	よろしくおねがいします。	福祉部	長寿社会課
157	まちづくり	110	地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口	計画通りセンター設置完了。利用者増加とともに相談内容も様々なものが寄せられるので、対応の質をあげていながらも職員をしっかりとフォローしていくことが重要。また、全ての相談を職員が受けるのではなく、利用者通して気軽に相談しあえる場を設けることで、職員の負担を軽減しつつ、利用者満足度を高めていきたい。	福祉部	長寿社会課
158	まちづくり	110	地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口	内容がよくわからないので、評価しがたいです。	福祉部	長寿社会課
159	まちづくり	111	認知症サポーター養成講座受講者数(延べ人数)	全員が知っておいたほうがいい。学校の授業に組み込むべき。	福祉部	長寿社会課
160	まちづくり	111	認知症サポーター養成講座受講者数(延べ人数)	公民館などでもこういった講座を開くよう促しても良いのでは。	福祉部	長寿社会課
161	まちづくり	112	地域の各種団体等関係者で話し合う場の設置数	公民館を通して地域の各種団体が話し合いを行う場をセットしてみてもは。	福祉部	長寿社会課
162	まちづくり	113	市民後見人候補者名簿登録人数	実績値はあるけど、現実の動きはよくわかりません。(認識不足です。)	福祉部	長寿社会課
163	まちづくり	113	市民後見人候補者名簿登録人数	手順改善の効果が表れている。候補者増加に向けた取組と合わせて、既存事例の共有もしていく。	福祉部	長寿社会課
164	まちづくり	113	市民後見人候補者名簿登録人数	このような取り組みを初めて知りました。大変と思います。よろしくお願ひします。	福祉部	長寿社会課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
165	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	<p>エッセンシャルワーカーの不足は、運輸交通分野にまで及び。全般的な有効求人倍率の高止まりもあって、早急な自体の打開は困難と思われる。</p> <p>外国人人材についても、円安基調と、先進国としては異例な所得水準の低迷により労働市場としての魅力は高くない。</p> <p>ただし、訪日インバウンドは激増しており、こうした現象から得られる日本社会の唯一無二の優位性を強くアピールしてワーカーへの訴求を図る方法も模索してはどうか。</p> <p>ワーカーを単に労働者として捉えるだけでなく、生活者やツーリスト、異文化体験嗜好者と見做して待遇するような仕組みに目を向けることで開ける可能性もあるのでは。</p> <p>日本社会の優位性の例→社会の安全性（犯罪発生率の低さ、銃器が流通しない社会、食の安全、良好な衛生環境、健康保険や医療提供体制その他整備された社会インフラ等）→生活の楽しさ（安価な外食等コスパの高い食生活、美しい自然と四季、ショッピングや娯楽・文化の多様性）</p>	経済観光部	経済・雇用戦略課
166	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	<p>割合だけでなく人数も気になるところではあるが、目標値に近い採用はできている。専門人材の確保はもちろん、兼業などさまざまな形で関わられる仕組みを促進したい。</p>	福祉部	長寿社会課
167	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	<p>限界集落が増加する中、住み慣れた環境での介護ケアを拡充する施策を検討しても、現実的に不可能なことを可能にするのは難しいと感じます。出生率の低下や鳥取への移住・定住率の減少といった課題がある中、人口減少は避けられない現実です。この状況を真摯に受け止め、多少強引であっても、実行可能な施策を打ち出していくことが求められます。スモールタウン構想の実現など、避けて通れない現実に向き合う必要もあると考えます。</p>	福祉部	長寿社会課
168	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	<p>介護の人材不足が課題であるとよくいわれるが、その原因などを探り出し分析して、それらを公表して、行政のみの責任とせず、市民とともに課題解決を進めていく必要があると思う。介護の担い手不足を地域に投げかけてもいいのでは。</p>	福祉部	長寿社会課
169	まちづくり	115	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数	<p>多文化共生社会は必要と思うけど、行政が積極的にその機会を設定している機会を感じたことはありません。</p>	企画推進部	文化交流課
170	まちづくり	116	防災リーダーの設置地区数	<p>設置しただけにならぬよう、リーダー同志の意見交換や研修を行い、効果的に活動していけるようサポート。</p>	危機管理部	危機管理課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	ご感想等の内容	担当部局	担当課
171	まちづくり	116	防災リーダーの設置地区数	よろしくお願いします。	危機管理部	危機管理課
172	まちづくり	117	浸水が想定される区域内の雨水排水施設整備面積	排水整備が正常に稼働できるよう、住民を巻き込んで点検整備をしていきたい。	下水道部	下水道企画課
173	まちづくり	117	浸水が想定される区域内の雨水排水施設整備面積	想定以上の多雨が見られる時代、引き続き浸水被害を軽減する工事は大切。	下水道部	下水道企画課
174	まちづくり	117	浸水が想定される区域内の雨水排水施設整備面積	よろしくお願いします。	下水道部	下水道企画課